

令和元年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		千葉県		市町村類型	Ⅱ－１		指定団体等の指定状況		区分		令和元年度(千円)	平成30年度(千円)	区分		令和元年度(千円・％)	平成30年度(千円・％)		
市町村名		旭市		地方交付税種地	１－１		財政健全化等		歳入総額		34,611,753	32,056,217	実質収支比率		10.4	6.0		
							× <td colspan="2">歳出総額</td> <td>32,090,129</td> <td>30,340,206</td> <td colspan="2">経常収支比率</td> <td>86.8</td> <td>89.7</td>		歳出総額		32,090,129	30,340,206	経常収支比率		86.8	89.7		
							× <td colspan="2">歳入歳出差引</td> <td>2,521,624</td> <td>1,716,011</td> <td colspan="2">(※1)</td> <td>(90.3)</td> <td>(93.4)</td>		歳入歳出差引		2,521,624	1,716,011	(※1)		(90.3)	(93.4)		
							× <td colspan="2">翌年度に繰越すべき財源</td> <td>676,817</td> <td>646,150</td> <td colspan="2">標準財政規模</td> <td>17,769,457</td> <td>17,842,372</td>		翌年度に繰越すべき財源		676,817	646,150	標準財政規模		17,769,457	17,842,372		
							× <td colspan="2">実質収支</td> <td>1,844,807</td> <td>1,069,861</td> <td colspan="2">財政力指数</td> <td>0.49</td> <td>0.49</td>		実質収支		1,844,807	1,069,861	財政力指数		0.49	0.49		
人口		平成27年国調(人)	66,586 <th colspan="2" rowspan="3">産業構造 (※5)</th> <th colspan="2">中部</th> <td colspan="2">単年度収支</td> <td>774,946</td> <td>304,054</td> <td colspan="2">公債費負担比率</td> <td>13.4</td> <td>14.4</td>	産業構造 (※5)		中部		単年度収支		774,946	304,054	公債費負担比率		13.4	14.4			
		平成22年国調(人)	69,058 <th colspan="2">過疎</th> <td colspan="2">×</td> <td colspan="2">積立金</td> <td>463,945</td> <td>28,243</td> <td colspan="2">健全化判断比率</td> <td></td> <td></td>			過疎		×		積立金		463,945	28,243	健全化判断比率				
		増減率 (％)	－3.6 <th colspan="2">山振</th> <td colspan="2">×</td> <td colspan="2">繰上償還金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td colspan="2">実質赤字比率</td> <td>－</td> <td>－</td>			山振		×		繰上償還金		0	0	実質赤字比率		－	－	
住民基本台帳人口 (※7)		令02.01.01(人)	65,305 <th>区分</th> <th>平成27年国調</th> <th>平成22年国調</th> <th colspan="2">低開発</th> <td colspan="2">積立金取崩し額</td> <td>402,000</td> <td>0</td> <td colspan="2">連結実質赤字比率</td> <td>－</td> <td>－</td>	区分	平成27年国調	平成22年国調	低開発		積立金取崩し額		402,000	0	連結実質赤字比率		－	－		
		うち日本人(人)		63,790 <th rowspan="2">第1次</th> <td>6,207</td> <td>6,461<th colspan="2">指数表選定</th><td colspan="2">実質単年度収支</td><td>836,891</td><td>332,297</td><td colspan="2">実質公債費比率</td><td>7.9</td><td>8.2</td></td>	第1次	6,207	6,461 <th colspan="2">指数表選定</th> <td colspan="2">実質単年度収支</td> <td>836,891</td> <td>332,297</td> <td colspan="2">実質公債費比率</td> <td>7.9</td> <td>8.2</td>	指数表選定		実質単年度収支		836,891	332,297	実質公債費比率		7.9	8.2	
		平31.01.01(人)		65,810 <td>18.3</td> <td>18.5<td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2">将来負担比率</td><td>－</td><td>－</td></td>		18.3	18.5 <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">将来負担比率</td> <td>－</td> <td>－</td>					将来負担比率		－	－			
		うち日本人(人)		64,419 <th rowspan="2">第2次</th> <td>8,230</td> <td>8,519<td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></td>	第2次	8,230	8,519 <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td>											
		増減率 (％)		－0.8 <td>24.3</td> <td>24.3</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td>		24.3	24.3											
面積 (km ²)		130.45 <th rowspan="2">第3次</th> <td>19,454</td> <td>20,013</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td>			第3次	19,454	20,013											
人口密度 (人/km ²)		510 <td>57.4</td> <td>57.2</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td>				57.4	57.2											
世帯数 (世帯)		23,350 <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td>																
職員の状況																		
特別職等	区分		定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分		職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高		32,346,337	30,014,824				
	市区町村長		1	7,740 <th colspan="2">一般職員</th> <td>596</td> <td>1,792,172</td> <td>3,007</td> <th colspan="2">うち公的資金</th> <td>23,569,078</td> <td>20,470,313</td> <td colspan="2"></td>		一般職員		596	1,792,172	3,007	うち公的資金		23,569,078	20,470,313				
	副市区町村長		1	6,400 <th colspan="2">うち消防職員</th> <td>119</td> <td>356,286</td> <td>2,994</td> <th colspan="2">債務負担行為額(支出予定額)</th> <td>2,475,897</td> <td>629,387</td> <td colspan="2"></td>		うち消防職員		119	356,286	2,994	債務負担行為額(支出予定額)		2,475,897	629,387				
	教育長		1	6,000 <th colspan="2">うち技能労務職員</th> <td>19</td> <td>54,777</td> <td>2,883</td> <th colspan="2">収益事業収入</th> <td>－</td> <td>－</td> <td colspan="2"></td>		うち技能労務職員		19	54,777	2,883	収益事業収入		－	－				
	議会議長		1	3,950 <th colspan="2">教育公務員</th> <td>7</td> <td>26,999</td> <td>3,857</td> <th colspan="2">土地開発基金現在高</th> <td>－</td> <td>－</td> <td colspan="2"></td>		教育公務員		7	26,999	3,857	土地開発基金現在高		－	－				
	議会副議長		1	3,650 <th colspan="2">臨時職員</th> <td>－</td> <td>－</td> <td>－</td> <th rowspan="2">積立金現在高</th> <th colspan="2">財政調整基金</th> <td>9,579,485</td> <td>9,517,540</td> <td colspan="2"></td>		臨時職員		－	－	－	積立金現在高	財政調整基金		9,579,485	9,517,540			
	議会議員		20	3,400 <th colspan="2">合計</th> <td>603</td> <td>1,819,171</td> <td>3,017</td> <th colspan="2">減債基金</th> <td>576,053</td> <td>575,936</td> <td colspan="2"></td>		合計		603	1,819,171	3,017		減債基金		576,053	575,936			
						ラスパイレス指数		98.2			その他特定目的基金		7,252,500	7,372,237				
	一般会計等の一覧		事業会計の一覧			公営企業(法適)の一覧			公営企業(法非適)の一覧			関係する一部事務組合等一覧			地方公社・第三セクター等一覧			
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(※3)				
(1)	一般会計	(3)	旭市国民健康保険事業特別会計(事業)	(7)	旭市水道事業会計	(8)	旭市下水道事業特別会計	(10)	東総衛生組合(一般会計)	(20)	千葉県食肉公社			○				
(2)	旭市病院事業債管理特別会計	(4)	旭市国民健康保険事業特別会計(施設)			(9)	旭市農業集落排水事業特別会計	(11)	東総広域水道企業団(水道用水供給事業会計)	(21)	季楽里あさひ							
		(5)	旭市介護保険事業特別会計					(12)	東総地区広域市町村圏事務組合(一般会計)	(22)	総合病院国保旭中央病院			○				
		(6)	旭市後期高齢者医療特別会計					(13)	東総地区広域市町村圏事務組合(東総地区ふると市町村圏事業特別会計)									
								(14)	東総地区広域市町村圏事務組合(一般廃棄物処理事業特別会計)									
								(15)	千葉県市町村総合事務組合(一般会計)									
								(16)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)									
								(17)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)									
								(18)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)									
								(19)	千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)									

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	7,687,826	22.2	7,433,279	43.1	普通税	7,424,740	96.6	22,514
地方譲与税	335,430	1.0	335,430	1.9	法定普通税	7,424,740	96.6	22,514
利子割交付金	5,589	0.0	5,589	0.0	市町村民税	3,608,946	46.9	22,514
配当割交付金	39,003	0.1	39,003	0.2	個人均等割	118,730	1.5	-
株式等譲渡所得割交付金	25,736	0.1	25,736	0.1	所得割	3,023,336	39.3	-
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	166,484	2.2	-
地方消費税交付金	1,202,732	3.5	1,202,732	7.0	法人税割	300,396	3.9	22,514
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	固定資産税	3,076,618	40.0	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	3,073,728	40.0	-
自動車取得税交付金	69,928	0.2	69,928	0.4	軽自動車税	211,959	2.8	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	527,217	6.9	-
自動車税環境性能割交付金	20,433	0.1	20,433	0.1	鉱産税	-	-	-
地方特例交付金等	206,765	0.6	206,765	1.2	特別土地保有税	-	-	-
個人住民税減収補填特例交付金	47,310	0.1	47,310	0.3	法定外普通税	-	-	-
自動車税減収補填特例交付金	9,668	0.0	9,668	0.1	目的税	263,086	3.4	-
軽自動車税減収補填特例交付金	1,705	0.0	1,705	0.0	法定目的税	263,086	3.4	-
子ども・子育て支援臨時交付金	148,082	0.4	148,082	0.9	入湯税	8,540	0.1	-
地方交付税	10,268,229	29.7	7,832,271	45.5	事業所税	-	-	-
普通交付税	7,832,271	22.6	7,832,271	45.5	都市計画税	254,546	3.3	-
特別交付税	1,175,994	3.4	-	-	水利地益税等	-	-	-
震災復興特別交付税	1,259,964	3.6	-	-	法定外目的税	-	-	-
（一般財源計）	19,861,671	57.4	17,171,166	99.7	旧法による税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	8,519	0.0	8,519	0.0	合計	7,687,826	100.0	22,514
分担金・負担金	95,852	0.3	-	-				
使用料	294,340	0.9	39,598	0.2	区分	令和元年度	平成30年度	
手数料	309,351	0.9	31	0.0	徴収率（現年・計％）	合計	98.2	93.2
国庫支出金	3,163,292	9.1	-	-		市町村民税	98.5	94.7
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-		純固定資産税	97.7	91.0
都道府県支出金	1,624,947	4.7	-	-				
財産収入	103,055	0.3	7,671	0.0	公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
寄附金	64,934	0.2	-	-	合計	2,703,074	実質収支	354,920
繰入金	672,212	1.9	-	-	下水道	427,127	再差引収支	340,344
繰越金	1,716,011	5.0	-	-	上水道	111,892	加入世帯数（世帯）	10,873
諸収入	1,336,569	3.9	3,287	0.0	工業用水道	-	被保険者数（人）	19,473
地方債	5,361,000	15.5	-	-	交通	-	被保険者	106
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-	国民健康保険	577,003	1人当り	-
うち臨時財政対策債	700,000	2.0	-	-	その他	1,587,052	保険税（料）収入額	276
歳入合計	34,611,753	100.0	17,230,272	100.0				

（注釈）
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	197,190	0.6	-	197,190	
総務費	3,437,338	10.7	81,724	2,356,516	
民生費	8,825,018	27.5	306,131	4,559,402	
衛生費	7,927,745	24.7	282,025	4,812,302	
労働費	1,754	0.0	-	1,754	
農林水産業費	757,655	2.4	177,815	498,766	
商工費	355,586	1.1	12,019	212,494	
土木費	2,072,283	6.5	1,212,893	1,259,692	
消防費	1,189,337	3.7	146,626	1,083,917	
教育費	4,084,255	12.7	2,216,262	1,828,198	
災害復旧費	74,401	0.2	-	52,524	
公債費	3,167,567	9.9	-	2,995,404	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	32,090,129	100.0	4,435,495	19,858,159	
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	13,435,784	41.9	9,118,838	9,117,337	50.8
人件費	5,078,442	15.8	4,229,124	4,228,465	23.6
うち職員給	3,256,496	10.1	3,019,956	-	-
扶助費	5,189,775	16.2	1,894,310	1,893,468	10.6
公債費	3,167,567	9.9	2,995,404	2,995,404	16.7
元利償還金	3,167,567	9.9	2,995,404	2,995,404	16.7
うち元金	3,029,487	9.4	2,858,501	2,858,501	15.9
うち利子	138,080	0.4	136,903	136,903	0.8
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	14,144,449	44.1	9,441,450	6,440,807	35.9
物件費	3,535,442	11.0	2,536,479	2,373,281	13.2
維持補修費	96,937	0.3	51,041	41,003	0.2
補助費等	4,920,552	15.3	4,303,914	2,057,977	11.5
うち一部事務組合負担金	1,629,314	5.1	1,366,814	191,487	1.1
繰出金	2,591,182	8.1	2,150,911	1,968,546	11.0
積立金	544,126	1.7	392,695	-	-
投資・出資金・貸付金	2,456,210	7.7	6,410	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	4,509,896	14.1	1,297,871	-	-
うち人件費	134,967	0.4	134,967	-	-
普通建設事業費	4,435,495	13.8	1,245,347	-	-
うち補助	1,515,883	4.7	183,498	-	-
うち単独	2,795,312	8.7	1,041,681	-	-
災害復旧事業費	74,401	0.2	52,524	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	32,090,129	100.0	19,858,159	-	-

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況（単位：百万円）

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1	一般会計	32,108	29,586	2,522	1,845	28	28,408	
2	旭市病院事業債管理特別会計	4,312	4,312	-	-	-	22,234	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤字額
計	一般会計等（純計）	36,420	33,898	2,522	1,845		50,642	-

※一般会計等（純計）は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況（単位：百万円）

	会計名	総収益（歳入）	総費用（歳出）	純損益（形式収支）	資金剰余額／不足額（実質収支）	他会計等からの繰入金	企業債（地方債）現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1	旭市国民健康保険事業特別会計（事業）	8,370	7,968	402	402	472	-	-		
2	旭市国民健康保険事業特別会計（施設）	84	77	7	7	8	-	-		
3	旭市介護保険事業特別会計	5,266	5,110	156	156	750	-	-		
4	旭市後期高齢者医療特別会計	629	618	11	11	160	-	-		
5	旭市水道事業会計	1,507	1,294	213	2,819	112	622	109	-	法適用企業
6	旭市下水道事業特別会計	564	527	36	36	386	3,106	2,972	-	法非適用企業
7	旭市農業集落排水事業特別会計	77	74	3	3	41	215	177	-	法非適用企業
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										連結実質赤字額
計	公営企業会計等				3,434		3,943	3,258		-

関係する一部事務組合等の財政状況（単位：百万円）

	一部事務組合等名	総収益（歳入）	総費用（歳出）	純損益（形式収支）	資金剰余額／不足額（実質収支）	他会計等からの繰入金	企業債（地方債）現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
1	東総衛生組合（一般会計）	701	659	42	42	32	662	319	
2	東総広域水道企業団（水道用水供給事業会計）	1,504	1,399	105	4,265	-	-	-	
3	東総地区広域市町村圏事務組合（一般会計）	53	45	8	8	-	-	-	
4	東総地区広域市町村圏事務組合（東総地区ふるさと市町村圏事業特別会計）	11	9	2	2	-	-	-	
5	東総地区広域市町村圏事務組合（一般廃棄物処理事業特別会計）	6,186	6,139	47	47	-	-	-	
6	千葉県市町村総合事務組合（一般会計）	22,428	21,660	768	768	28	-	-	
7	千葉県市町村総合事務組合（千葉県自治会館管理運営特別会計）	193	137	56	56	-	-	-	
8	千葉県市町村総合事務組合（千葉県自治研修センター特別会計）	102	95	7	7	1	-	-	
9	千葉県市町村総合事務組合（千葉県市町村交通災害共済特別会計）	108	74	34	34	-	-	-	
10	千葉県後期高齢者医療広域連合（一般会計）	2,588	2,314	274	274	117	-	-	
11	千葉県後期高齢者医療広域連合（後期高齢者医療特別会計）	657,281	647,955	9,326	9,326	3,989	-	-	
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	一部事務組合等				14,829		662	319	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況（単位：百万円）

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1	千葉県食肉公社	26	1,242	180	-	-	-	-	-	
2	季楽里あさひ	10	104	31	-	-	-	-	-	
3	総合病院国保旭中央病院	395	16,236	10,726	2,194	21,820	-	-	-	
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
計	地方公社・第三セクター等			10,937	2,194	21,820	-	-	-	

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

実質公債費比率（千円・％）				
区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	分母比
元利償還金	5,101,099	4,959,745	4,970,076	34.0
減債基金積立不足算定額	-	-	-	-
満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-
準元利償還金				
公営企業債の元利償還金に対する繰入金	319,804	325,776	330,308	2.3
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	49,059	47,943	47,907	0.3
債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）	27,101	24,465	21,949	0.1
一時借入金の利子	-	-	-	-
合計	(A) 5,497,063	5,357,929	5,370,240	
内訳	平成29年度	平成30年度	令和元年度	分母比
PFI事業に係るもの	-	-	-	-
いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-
地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-
社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-
損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-
引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
その他上記に準ずるもの	-	-	-	-
利子補給に係るもの	27,101	24,465	21,949	0.1
特定財源の額	(B) 1,223,418	1,127,350	1,072,170	
標準財政規模	(C) 17,923,058	17,842,372	17,769,457	
算入公債費等の額	(D) 3,057,317	3,073,854	3,135,757	
	(C)－(D) 14,865,741	14,768,518	14,633,700	
実質公債費比率	(単年度)	8.2	7.8	7.9
[(A)－(B)＋(D)]／[(C)－(D)]×100	(3ヵ年平均)	8.5	8.2	7.9

将来負担の状況

将来負担比率（千円・％）				
区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	分母比
将来負担額	49,283,226	49,724,525		

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人	65,305	人(R2.1.1現在)			
うち日本人	63,790	人(R2.1.1現在)			
面積	130.45	km ²			
歳入総額	34,611,753	千円	実質赤字比率	-	%
歳出総額	32,090,129	千円	連結実質赤字比率	-	%
実質収支	1,844,807	千円	実質公債費比率	7.9	%
標準財政規模	17,769,457	千円	将来負担比率	-	%
地方債現在高	32,346,337	千円	市町村類型	H27Ⅱ-1H28Ⅱ-1H29Ⅱ-1	
			(年度毎)	H30Ⅱ-1R01Ⅱ-1	

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

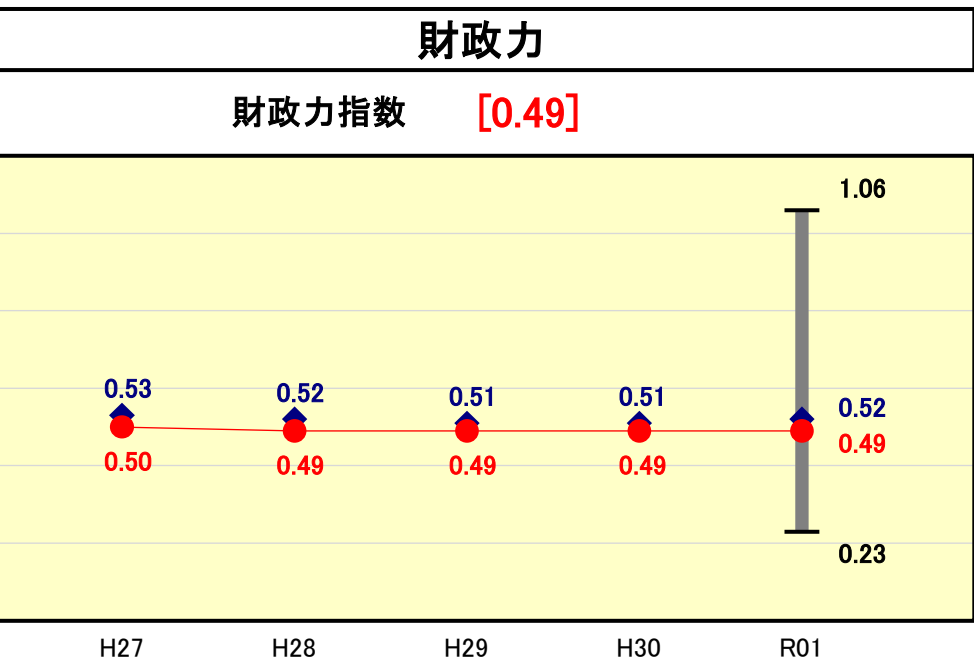
※令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



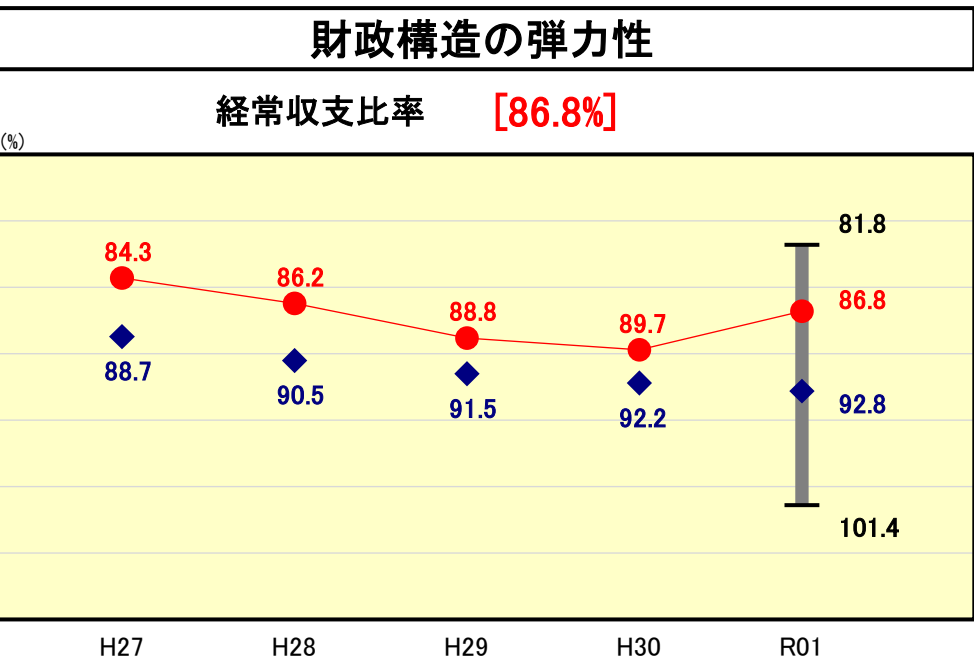
類似団体内順位 34/69 全国平均 0.51 千葉県平均 0.73

財政力指数の分析欄

・財政力指数は前年度と同一となり、類似団体平均との比較では0.03ポイント下回っている。

基準財政需要額に関しては、社会保障関係経費等による増や合併特例債等の交付税算入のある有利な起債のみを借り入れているため増加している。また、基準財政収入額に関しても、市税が年々向上してきている等の理由で増加している。基準財政需要額と基準財政収入額の増加率が同等のため財政力指数は変わらないが、市の収入は増加している。

今後についても、市税の徴収率のさらなる向上や受益者負担の原則に基づく使用料や負担金の見直し、交付税措置のある有利な起債の活用、未利用資産の売却など、歳入



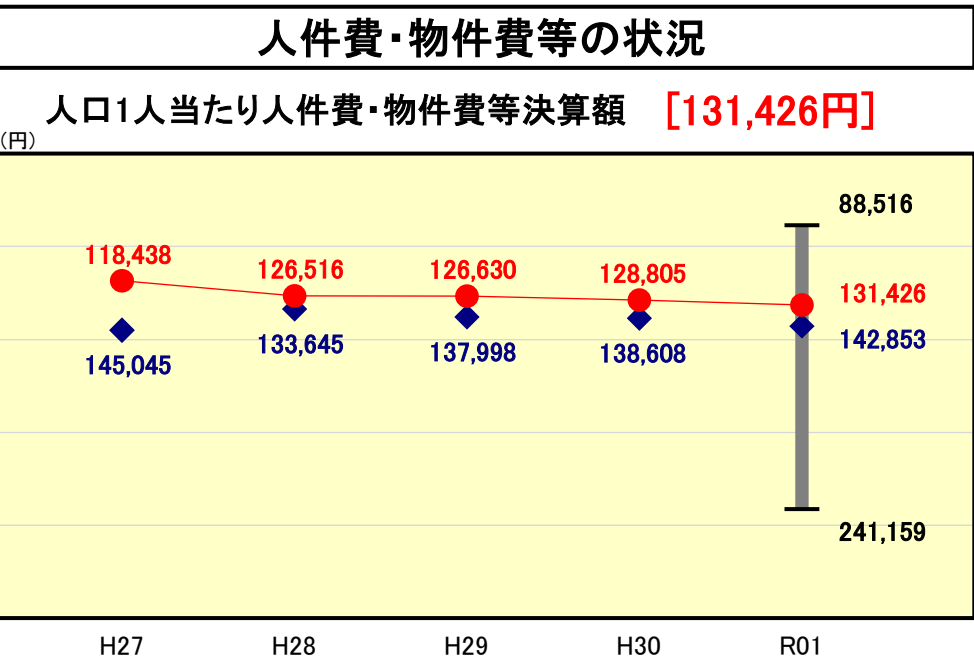
類似団体内順位 6/69 全国平均 93.6 千葉県平均 93.9

経常収支比率の分析欄

・前年度から2.9ポイント減少し、類似団体平均を6.0ポイント下回っている。

歳入面では、市税の増加や普通交付税の増加などにより前年を上回った。歳出面では、新規地方債の償還開始による公債費の増、公共施設の老朽化に伴う維持補修費の増などがあったものの、経常的収入の増加が上回ったため経常収支比率が減少した。

今後は、会計年度任用職員制度の影響による人件費の増や、高齢化に伴う扶助費の増など、経常収支比率の上昇要因が予想される。「行政改革アクションプラン」に基づく定員管理及び給与の適正化や、「個別施設計画(策定中)」に基づく公共施設の統廃合による維持管理費の節減など、経常経費の削減に一層努めていく。

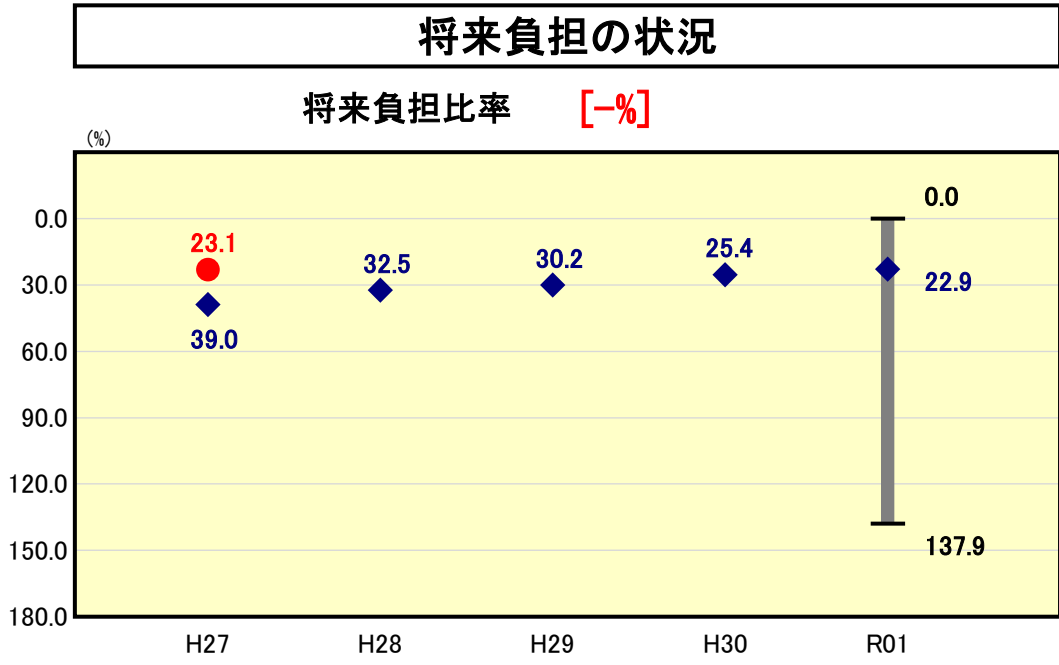


類似団体内順位 30/69 全国平均 135,880 千葉県平均 124,161

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

・前年度から2,621円上昇したものの、類似団体平均を11,427円下回っている。今後、令和2年度より導入される会計年度任用職員制度の影響、人口減少の影響等により、人口1当たり人件費・物件費等決算額は増加すると見込まれる。新庁舎移転に伴う施設の集約化や支所の廃止等により、経費の縮減を図る。

今後も「行政改革アクションプラン」に基づく定員管理及び給与の適正化による人件費の抑制、「個別施設計画(策定中)」に基づく公共施設の統廃合の推進による修繕費、維持補修費等の抑制に努める。



令和元年度

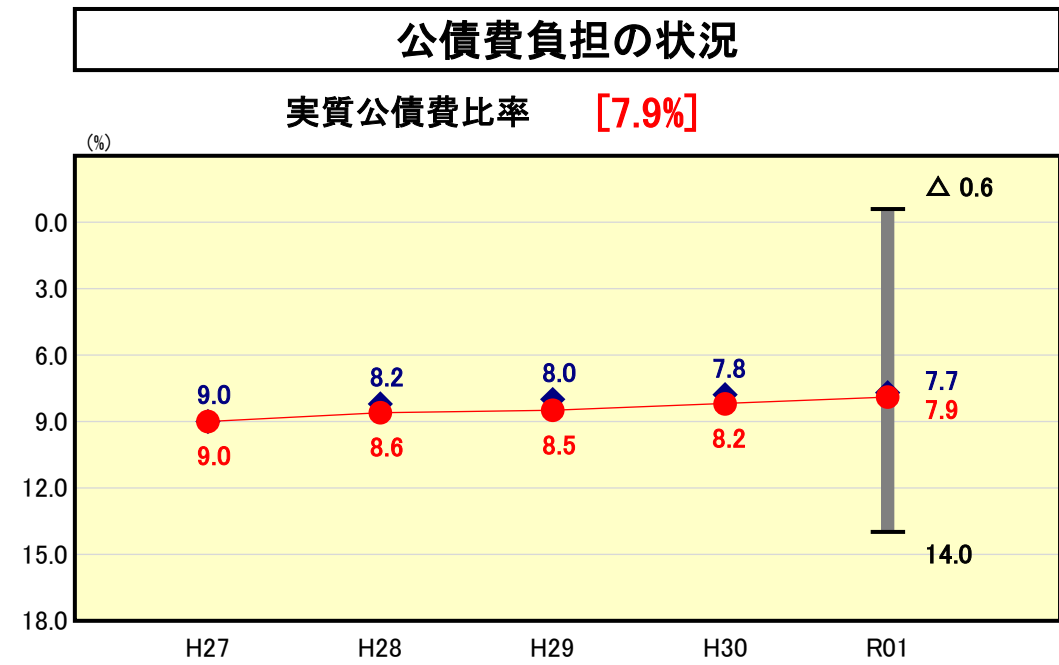
千葉県旭市

類似団体内順位 1/69 全国平均 27.4 千葉県平均 37.6

将来負担比率の分析欄

・一般会計に係る地方債の現在高は増加したものの、地方債現在高等に係る基準財政需要額参入見込額の増加や、財政調整基金などの計画的な基金の積立額の増加により、充当可能財源が将来負担額を上回ったため、将来負担比率は前年度同様算定されなかった。

今後、新庁舎建設工事や広域ごみ処理施設建設事業等により、令和2年度に地方債の借入のピークを迎えることとなるが、合併特例債等の交付税措置の有利な起債の活用を徹底し、充当可能財源の確保に努める。



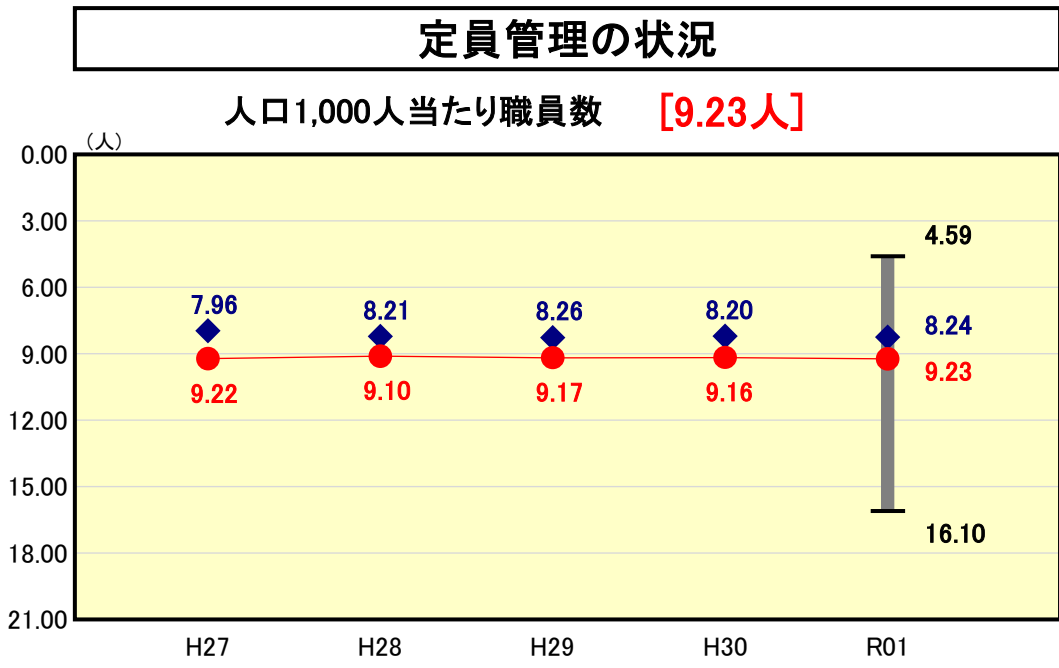
類似団体内順位 33/69 全国平均 5.8 千葉県平均 5.8

実質公債費比率の分析欄

・過去に借入を行った高利率な起債の償還が進み、元利償還金の額が減少したことに伴い、前年度から0.3ポイント減少したものの類似団体平均を0.2ポイント上回っている。

今後、新庁舎建設事業や広域ごみ処理施設建設事業などの大規模事業の影響により地方債の借入が増加し、大規模事業分の償還開始(令和6年)以降の数年間には緩やかに上昇することを見込んでいる。

大規模事業に対する合併特例債の借り入れにより、合併特例債の借り入れ可能残高が少なくなってくるが、各事業の必要性を精査し、今後も交付税措置のある有利な起債を活用するとともに、臨時財政対策債の借入額の圧縮等を行い、急激な上昇の抑制に努める(目標10.0%以内)。



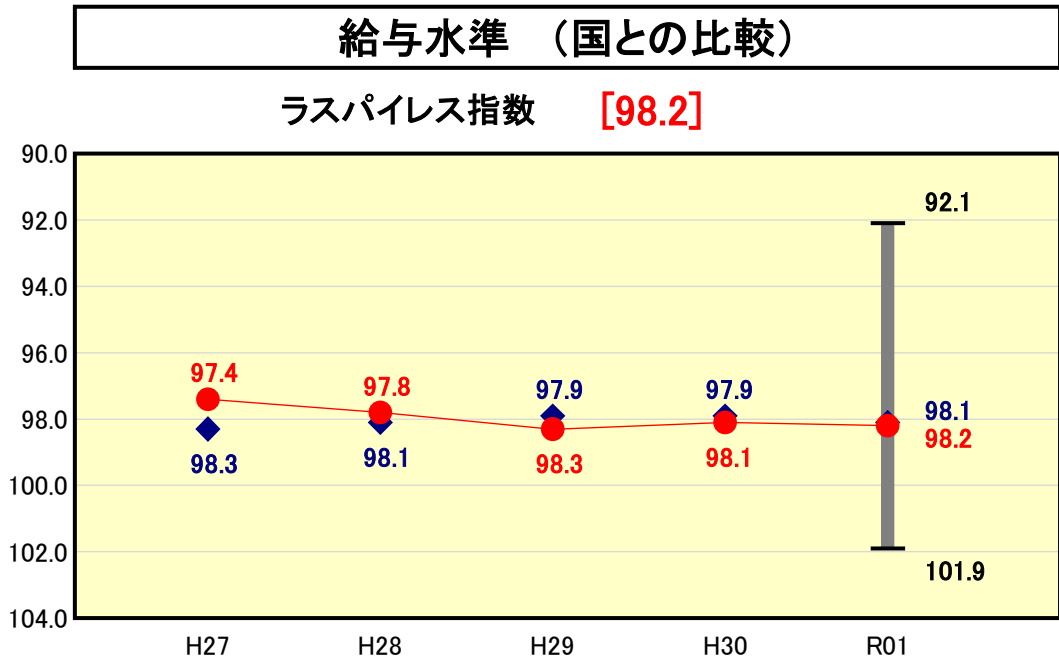
類似団体内順位 53/69 全国平均 8.03 千葉県平均 7.38

人口1,000人当たり職員数の分析欄

・前年度より0.07ポイント増加し、類似団体平均を0.99ポイント上回っている。

職員数は603人で前年度からの増減はないが人口の減により数値が上昇した。合併に伴いごみ処理業務や消防業務等が一部事務組合から市に編入されたため職員数が増加したことや、公立保育所数が多いこと(保育士が多いこと)が主な要因となり、類似団体平均より高い数値となっている。

「第2次定員適正化計画」に基づく職員数の削減を進め、目標としていた「平成22年度から5年間で職員数6.5%純減」は達成されたが、今後も「行政改革アクションプラン」に基づき、定員管理及び給与の適正化、個別施設計画に基づく施設の統廃合の推進による職員数の抑制を図る。



類似団体内順位 32/69 全国市平均 98.9 全国町村平均 96.4

ラスパイレス指数の分析欄

・前年度から0.1ポイント増加し、類似団体平均を0.1ポイント上回っているが、千葉県内市町村の平均は100.7であり、県内市の中では最も低い水準を維持している。

今後も、職員採用や新庁舎開庁等による施設集約化による人員配置など、職員構成のバランスを考慮し、給与水準の適正化を推進する。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

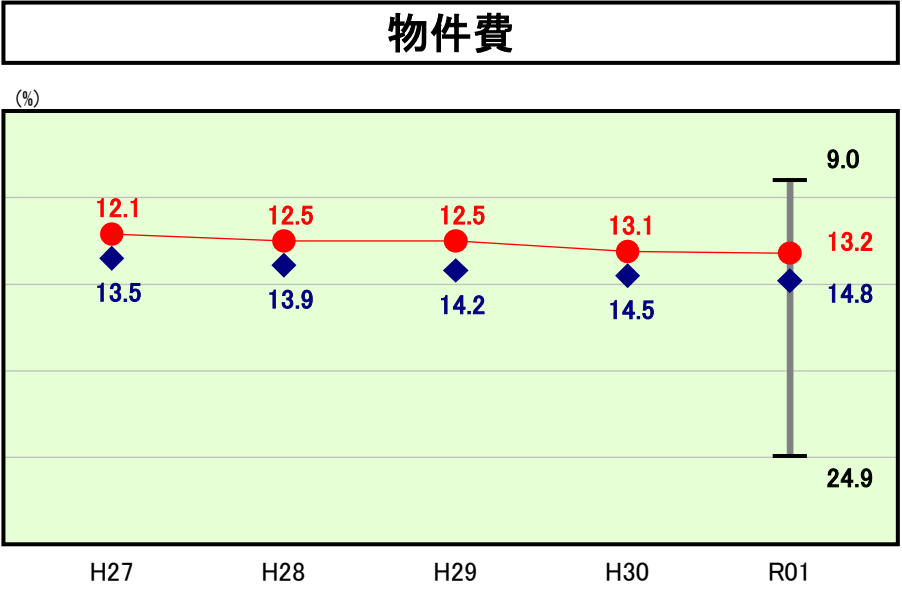
経常収支比率の分析

人	口	65,305	人(R2.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本	人	63,790	人(R2.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	積	130.45	km ²	実質公債費比率	7.9	%
歳入総額		34,611,753	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額		32,090,129	千円			
実質収支		1,844,807	千円	市町村類型	H27Ⅱ-1H28Ⅱ-1H29Ⅱ-1	
標準財政規模		17,769,457	千円	(年度毎)	H30Ⅱ-1R01Ⅱ-1	
地方債現在高		32,346,337	千円			

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 21/69 全国平均 15.0 千葉県平均 18.4

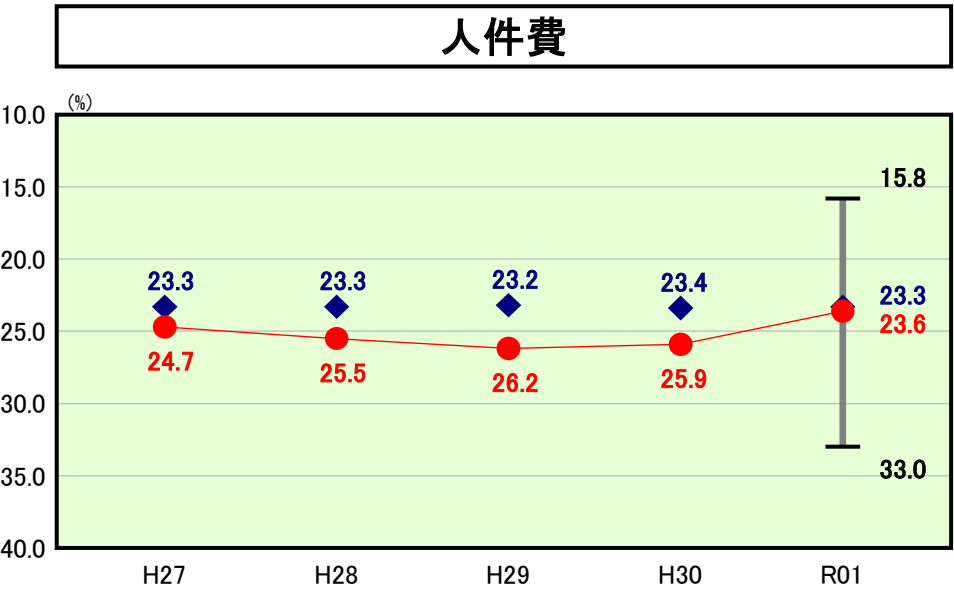
物件費の分析欄

・前年度から0.1ポイント増加しているが、類似団体平均を1.6ポイント下回っている。

前年度からの増加は、市のごみ処理施設(R3より広域ごみ処理施設へ移行)の修繕費が増加したことが主な要因である。

今後、令和2年度から導入される会計年度任用職員制度(現在物件費で計上している臨時職員の賃金が人件費に移行するため)や、新庁舎移転に伴う施設の集約化や支所の廃止等により、物件費は減少することが予想される。

庁舎のみでなく個別施設計画に基づいた公共施設の統廃合を進めるなど、

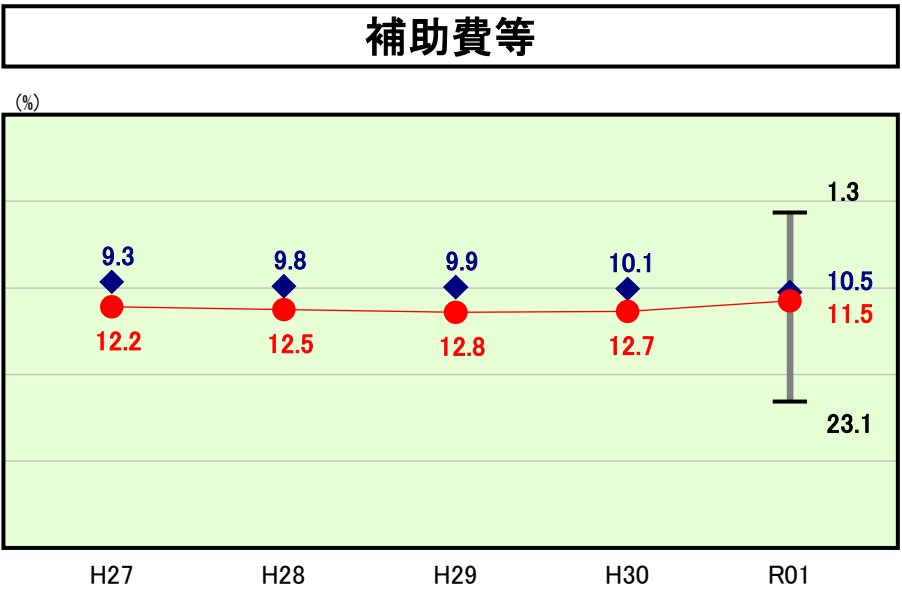


類似団体内順位 37/69 全国平均 25.6 千葉県平均 27.6

人件費の分析欄

・人件費については昨年度と職員数は変わらないが、職員の新陳代謝等による基本給の減により2.3ポイント減少している(H30:603人、R1:603人)。類似団体と比較すると0.3ポイント高いが、これは合併によりごみ処理業務や消防業務を市に編入したことや市の直営の保育所(保育士)が多いことなどが主な要因である。

今後、令和2年度から導入される会計年度任用職員制度の影響で人件費の増加は確実であると見込まれる。「行政改革アクションプラン」に基づき、定員管理及び給与の適正化、個別施設計画に基づく公共施設の統廃合による人



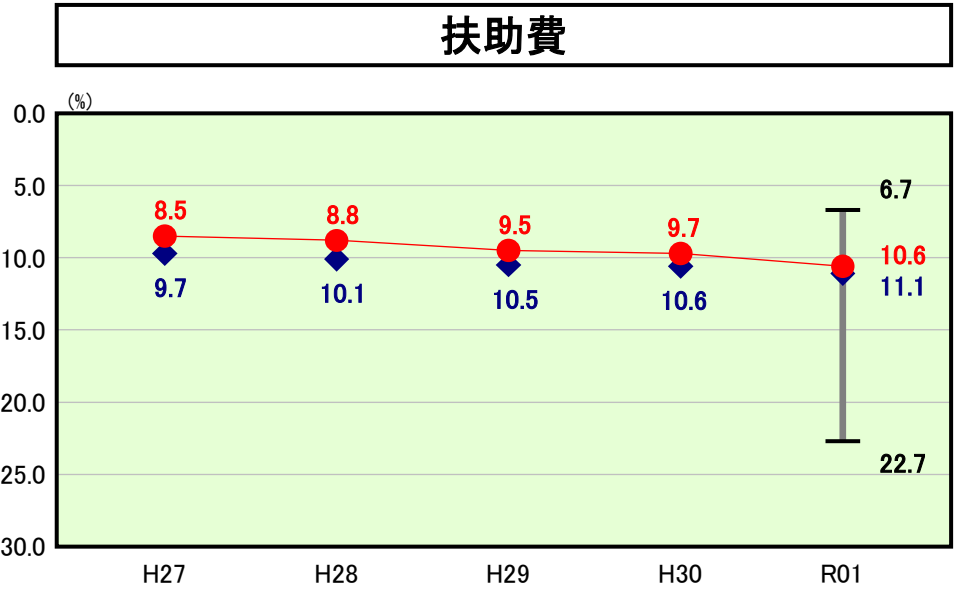
類似団体内順位 42/69 全国平均 10.3 千葉県平均 8.5

補助費等の分析欄

・前年度から1.2ポイント減少しているが、類似団体平均を1.0ポイント上回っている。

旭市特有の費用として、旭中央病院への運営費負担金があり、これが類似団体平均を上回る主な要因であると考えられる。

今後は、広域ごみ処理施設建設工事の影響で市負担金が増加することから、令和2年度に補助費等の比率はピークを迎えることが予想される。令和3年度以降は徐々に減少していくと見込んでいる。現在行っている市単独の補助制度等は、経済状況に応じ必要性を十分に精査したうえで見直しを徹底す



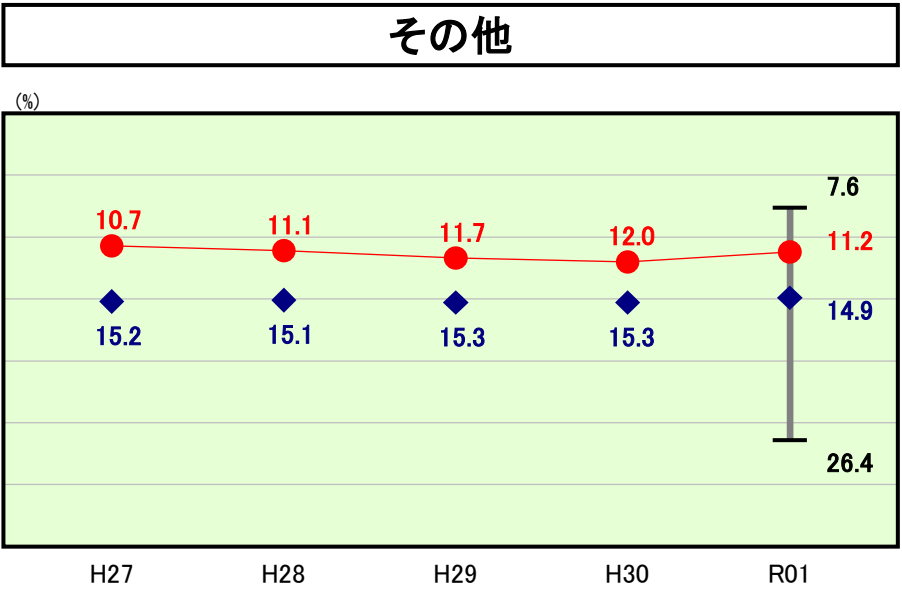
類似団体内順位 28/69 全国平均 13.1 千葉県平均 13.0

扶助費の分析欄

・前年度から0.9ポイント増加しているが、類似団体平均を0.5ポイント下回っている。

扶助費の比率は当市に限らず全国的に上昇傾向である。

今後は、少子高齢化の影響等に伴う社会福祉費や老人福祉費の増加により、上昇が予想される。扶助費の急激な増加を抑制するため、単独事業の見直しなどに努める。



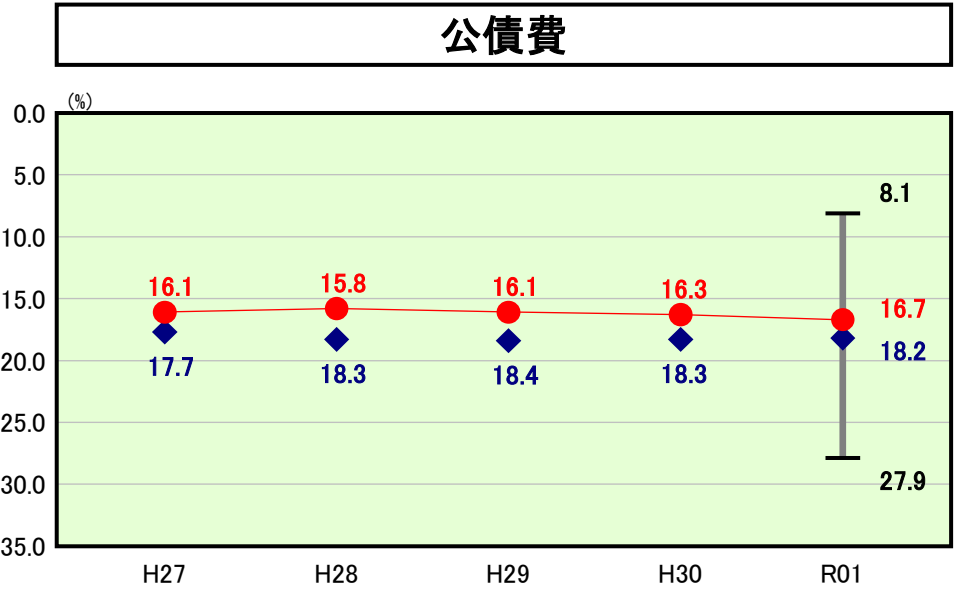
類似団体内順位 8/69 全国平均 13.1 千葉県平均 12.4

その他の分析欄

・前年度から0.8ポイント減少し、類似団体平均を3.7ポイント下回っている。

経常的繰出金への充当一般財源(H30:1,940百万→R1:1,969百万)は増加したものの維持補修費(H30:214百万→R1:97百万)が減となったため減となった。

今後は、公共施設の老朽化に伴い、維持補修費等も増加していくことが予想される。「個別施設計画(策定中)」に基づき、計画的に施設を維持していくことで比率上昇の抑制に努める。

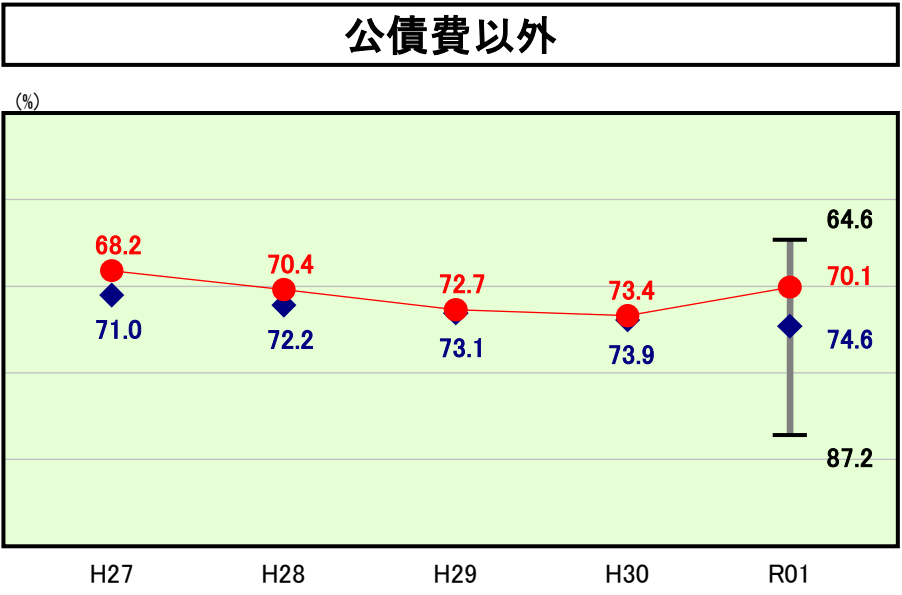


類似団体内順位 28/69 全国平均 16.5 千葉県平均 14.0

公債費の分析欄

・前年度から0.4ポイント増加しているが、類似団体平均を1.5ポイント下回っている。

令和2年度の新庁舎建設事業や広域ごみ処理施設建設事業などの大規模事業の施工や大規模事業以外にも道路工事や災害復旧、公共施設の長寿命化等の需要があることから、地方債の借入額は増加が見込まれる。新規発行分の償還開始後の数年間は、公債費の増加が予想されるが、交付税措置の高い起債の有効活用を徹底するとともに、適債性のある事業であっても事業の必要性をよく精査し、公債費の適正管理に努めていく。



類似団体内順位 9/69 全国平均 77.1 千葉県平均 79.9

公債費以外の分析欄

・前年度から3.3ポイント減少しており、類似団体平均を4.5ポイント下回っている。

物件費、扶助費は増加したものの、他の項目で減少したため公債費以外の項目としては減となった。

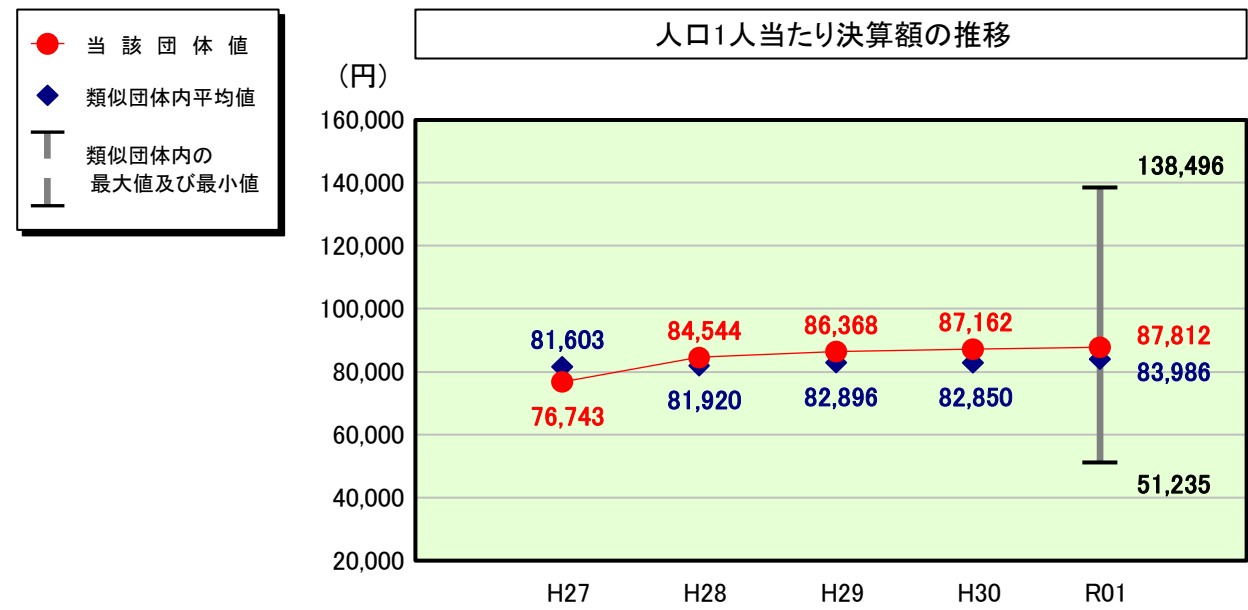
今後は、老朽化した施設の修繕費や維持補修費、社会保障関係経費が増大することが見込まれるため、事業の必要性や緊急性を十分精査し、住民サービスを低下させないよう注意しながら比率上昇の抑制に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和元年度

千葉県旭市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

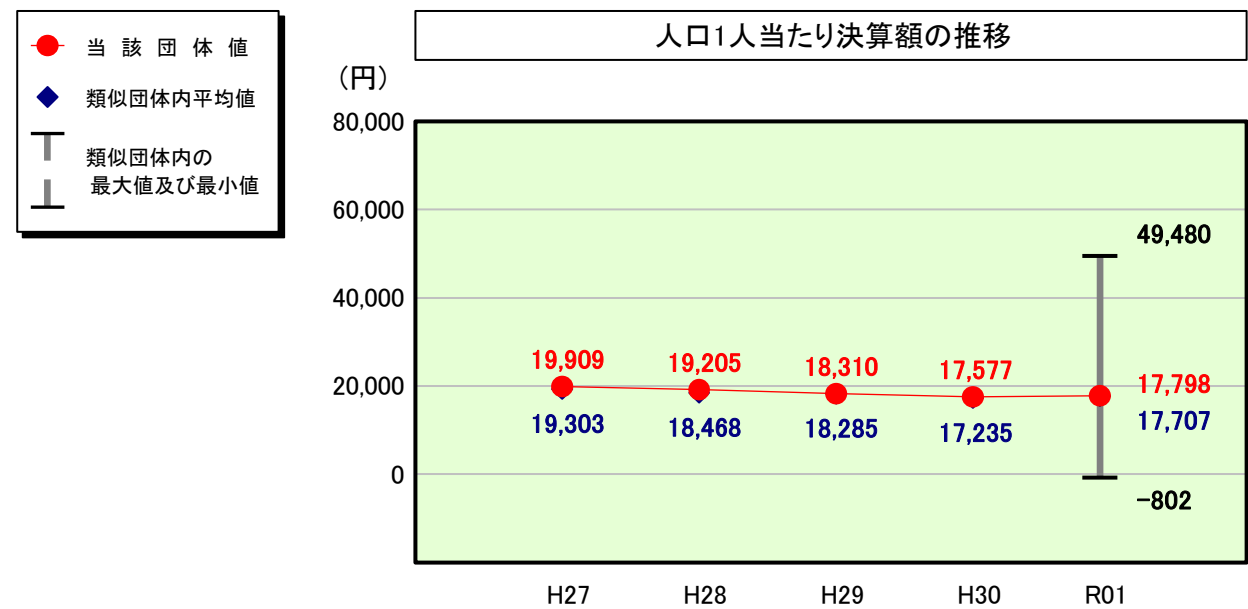
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	5,078,442	77,765	73,117	6.4
賃金 (物件費)	382,067	5,851	5,871	▲ 0.3
一部事務組合負担金 (補助費等)	105,644	1,618	5,513	▲ 70.7
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	1,308	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	3	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	296,438	4,539	2,952	53.8
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	134,967	2,067	1,788	15.6
▲退職金	▲ 262,993	▲ 4,027	▲ 6,565	▲ 38.7
合計	5,734,565	87,812	83,986	4.6

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	9.23	8.24	0.99
ラスパイレス指数	98.2	98.1	0.1

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

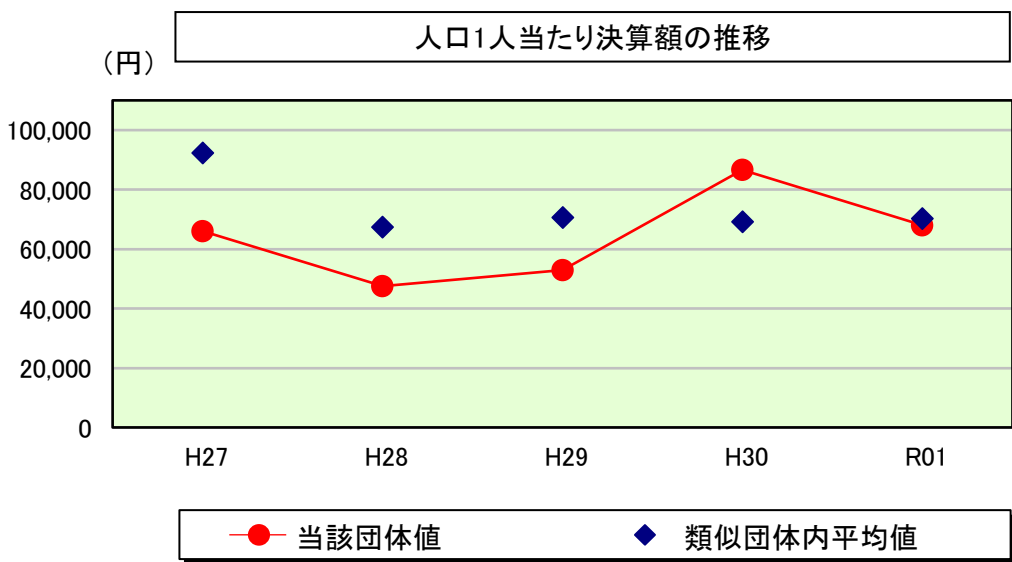


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	4,970,076	76,106	53,780	41.5
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	5	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	330,308	5,058	13,935	▲ 63.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	47,907	734	1,226	▲ 40.1
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	21,949	336	824	▲ 59.2
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲ 1,072,170	▲ 16,418	▲ 3,983	312.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 3,135,757	▲ 48,017	▲ 48,081	▲ 0.1
合計	1,162,313	17,798	17,707	0.5

※令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



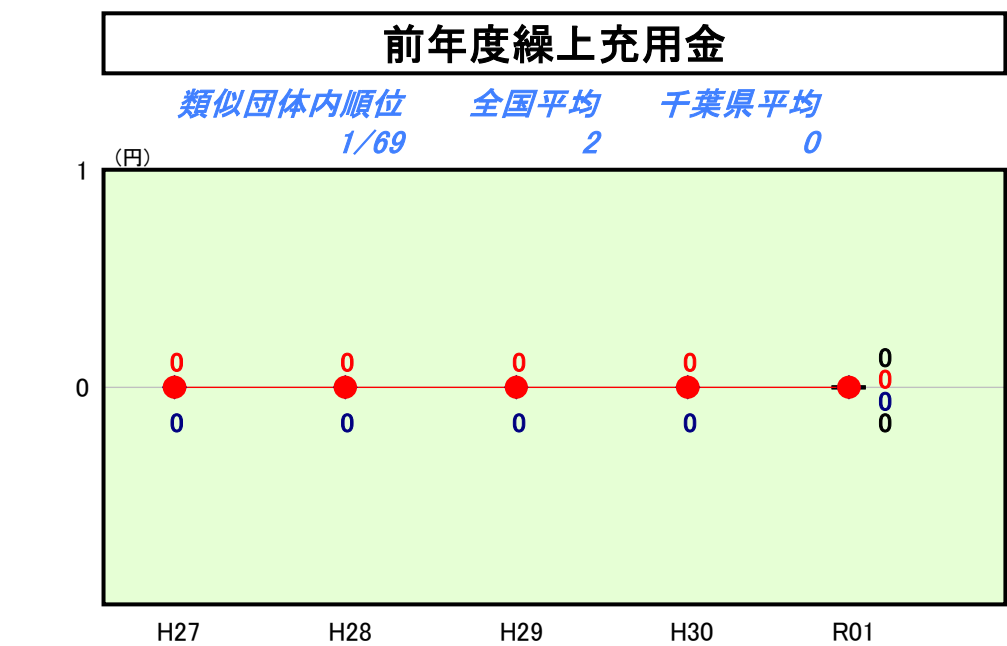
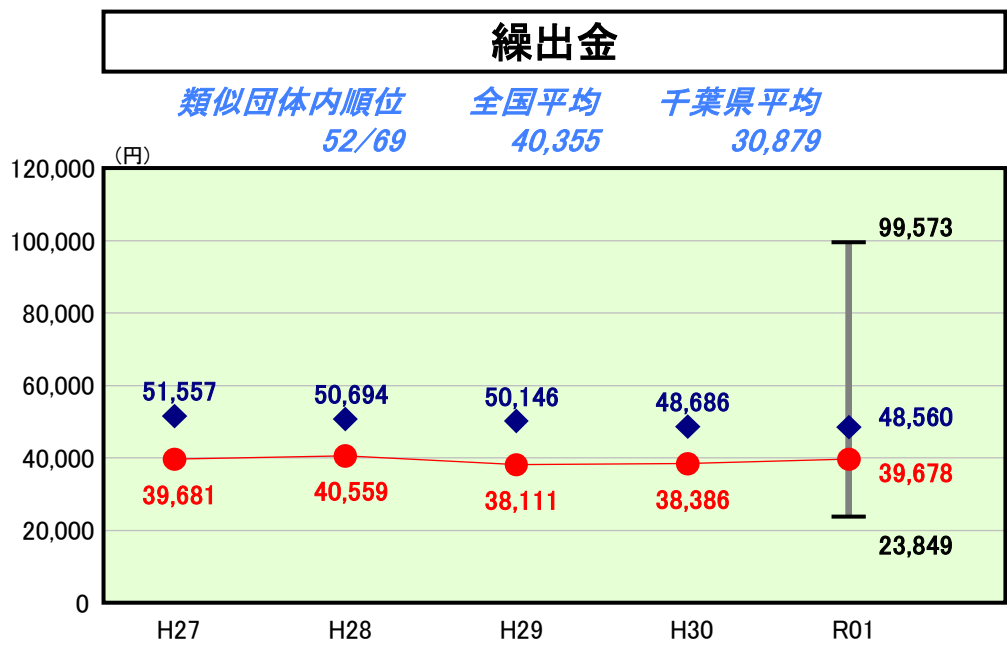
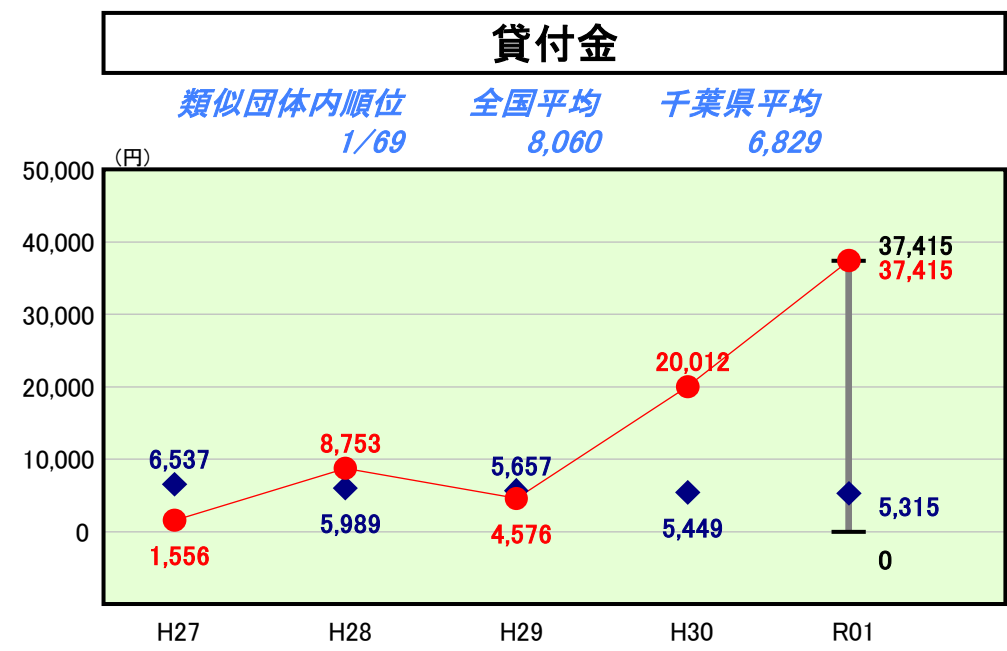
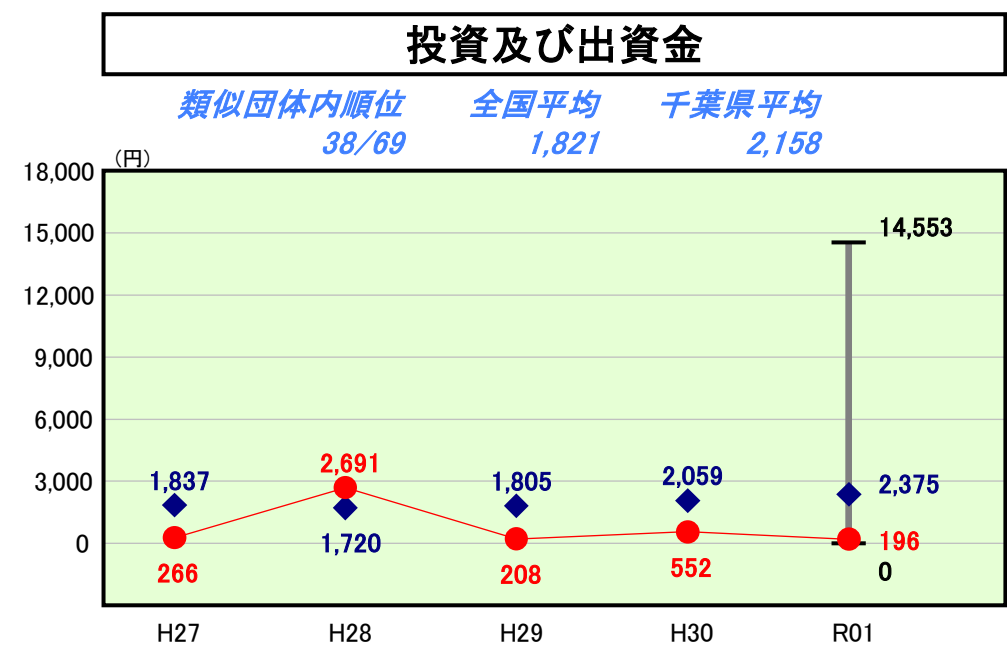
普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A) - (B)
H27	4,458,672	65,959	1.1	92,247	39.2	▲ 38.1
うち単独分	2,820,139	41,719	16.6	37,204	16.9	▲ 0.3
H28	3,196,926	47,526	▲ 27.9	67,319	▲ 27.0	▲ 0.9
うち単独分	2,222,572	33,041	▲ 20.8	38,101	2.4	▲ 23.2
H29	3,515,727	52,923	11.4	70,615	4.9	6.5
うち単独分	1,802,524	27,134	▲ 17.9	37,382	▲ 1.9	▲ 16.0
H30	5,699,962	86,612	63.7	69,185	▲ 2.0	65.7
うち単独分	4,098,152	62,272	129.5	38,519	3.0	126.5
R01	4,435,495	67,920	▲ 21.6	70,166	1.4	▲ 23.0
うち単独分	2,795,312	42,804	▲ 31.3	36,115	▲ 6.2	▲ 25.1
過去5年間平均	4,261,356	64,188	5.3	73,906	3.3	2.0
うち単独分	2,747,740	41,394	15.2	37,464	2.8	12.4

千葉県旭市

 当該団体値
 類似団体内平均値
 類似団体内の
 最大値及び最小値

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



・人件費は前年度から5,495,776円減少し、住民一人当たり77.665円であり、類似団体平均を4,648円上回っている。類似団体と比べ市営の保育所が多め、職員数が多いこと等が主な要因となっている。

・物件費は前年度から3,965円増加し、住民一人当たり54,137円であり、類似団体平均を14,373円下回っている。台風等の災害による増加はあったものの類似団体を大幅に下回っている。今後も必要性を精査し、突発的かつ緊急的な物件費の増加に耐えられるよう、経常的な物件費の抑制に努める。

・補助費は前年から19,841円と大幅に増加し、住民一人当たり75,347円であり、類似団体平均を20,758円上回っている。広域ごみ処理施設建設工事による負担金の増加が主な要因となっており、令和2年度は完成に向けた本格工事となり、更に増加する。令和3年度以降は減少していくと見込んでいるが、必要性を十分に精査し、見直しを徹底するなど補助費の抑制に努める。

・普通建設事業は前年度から18,692円と大幅に減少し、住民一人当たり67,920円であり、類似団体平均を2,246円下回っている。H30は新庁舎建設事業の前払い金が増大の主な要因であったため、前年度比で21.6%減となっている。今後、新庁舎建設事業や道路整備事業等により類似団体平均よりも高い状況が続くと予想される。

・貸付金は前年度から17,403円と大幅に増加し、住民一人当たり37,415円であり、類似団体平均を32,100円を上回っている。旭中央病院へ看師宿舎整備のために行った貸付金が増大の主な要因であり、前年度比で87.0%の増となっている。今後も旭中央病院の施設整備や医療機器整備の状況によっては、高い数値となることが予想される。

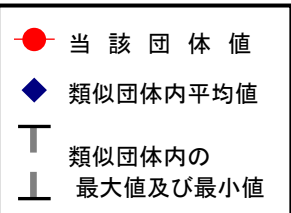
・積立金は前年度から6,377円増加し、住民一人当たり8,332円であり、類似団体平均を6,207円上回っている。財政調整基金の運用益による増減はあったものの、H28・H29に庁舎整備基金に積み立てた特目基金への積み立てが、予測できない災害等が及びてきなかった。今後も財政調整基金だけでなく、計画的に特定の目基金に積み立てをしていく。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和元年度

千葉県旭市

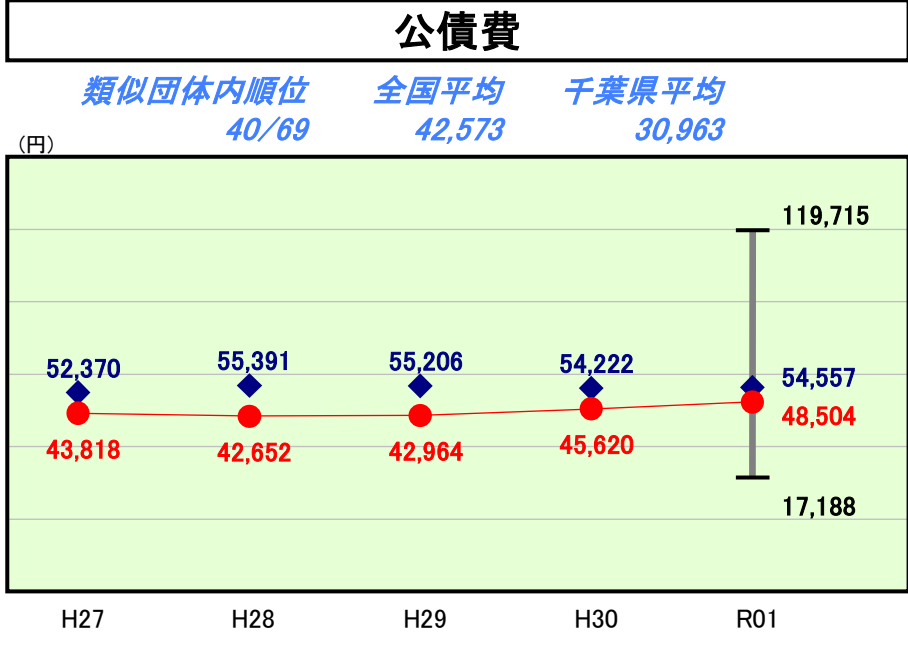
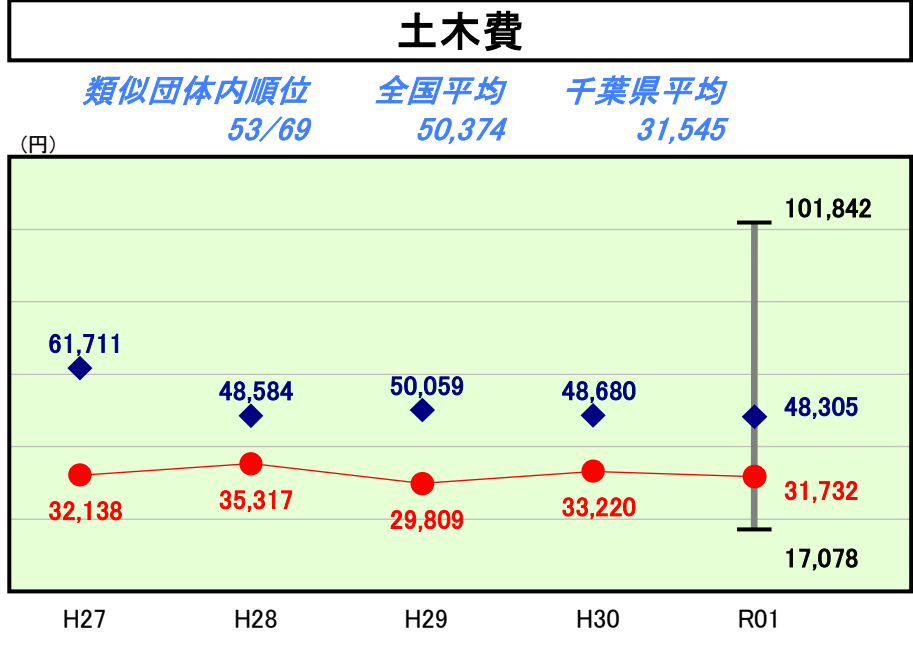
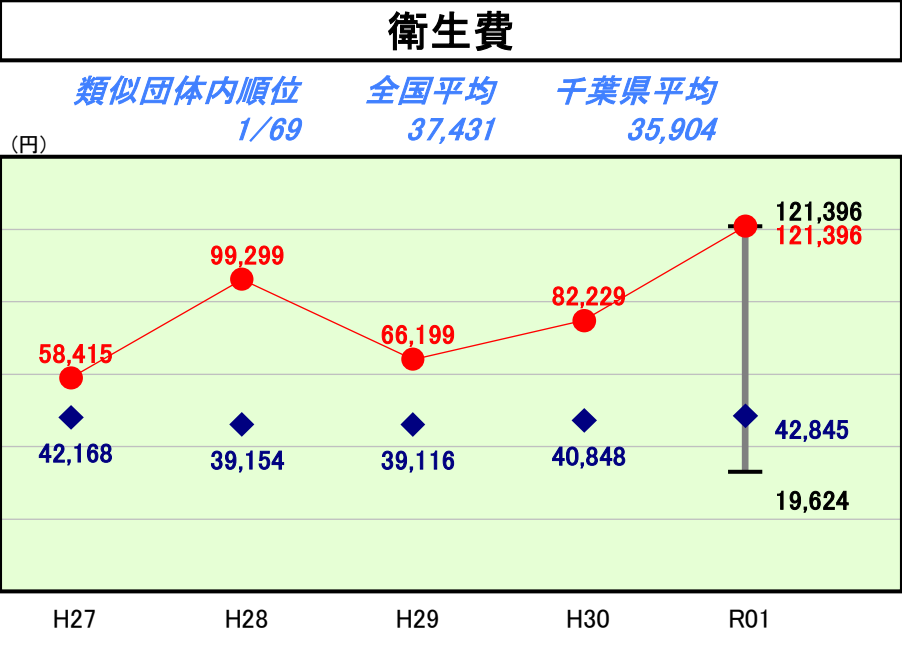
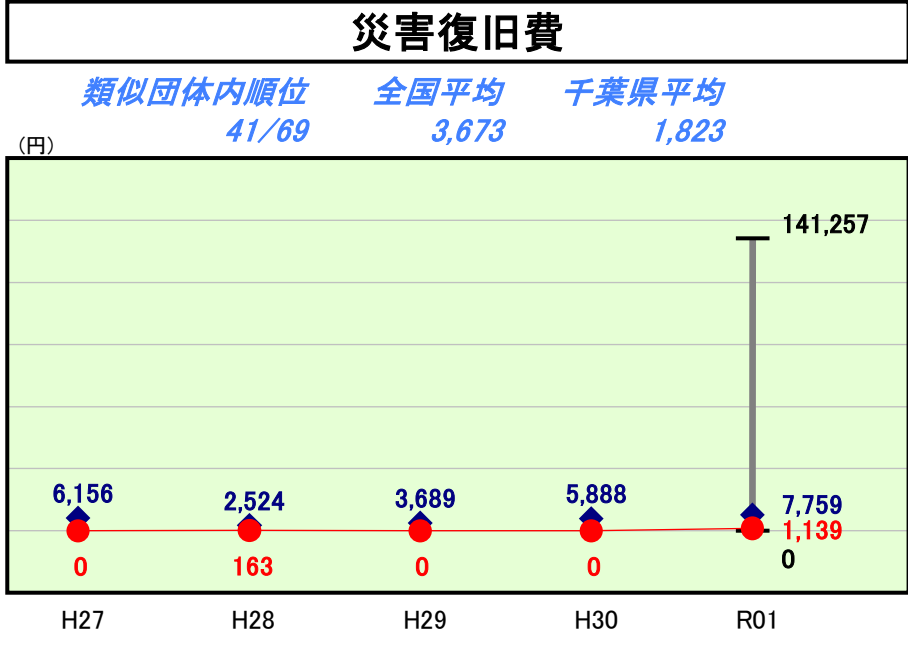
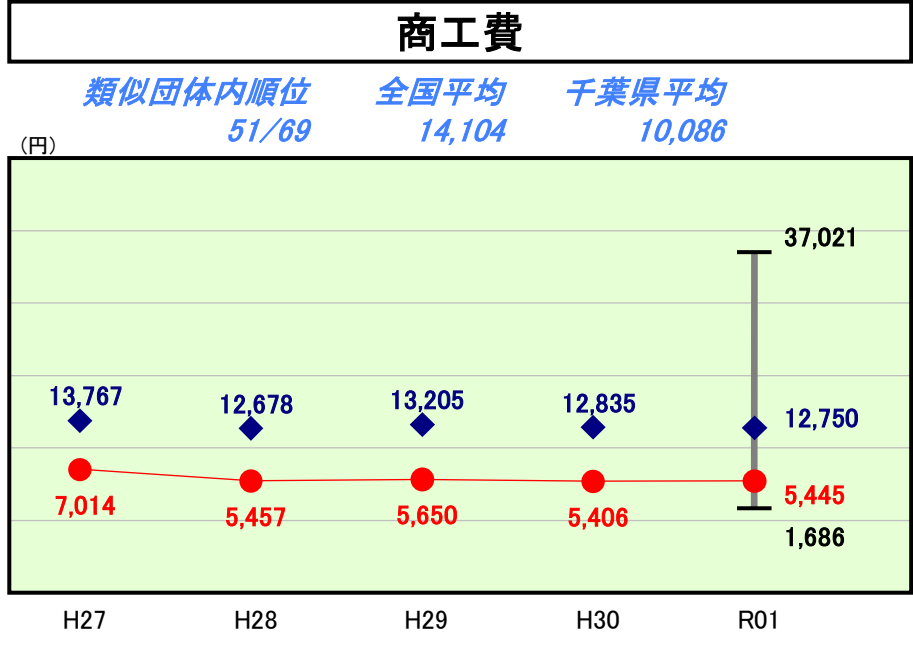
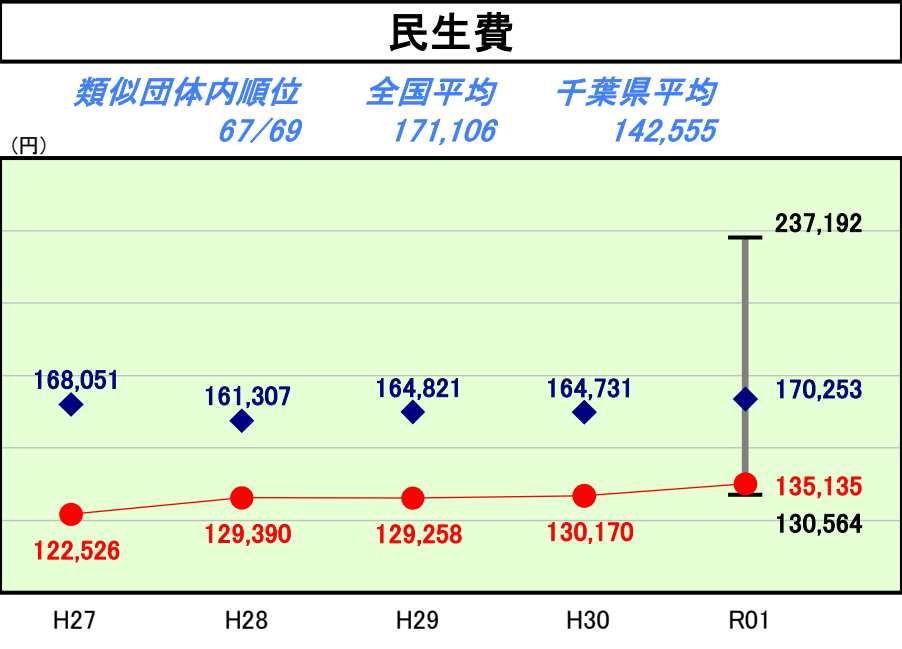
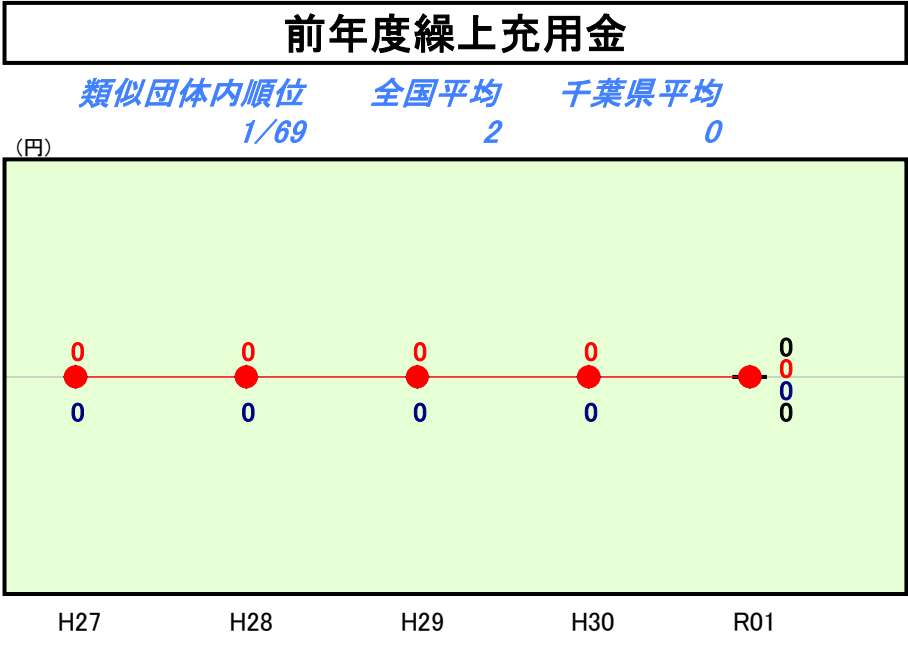
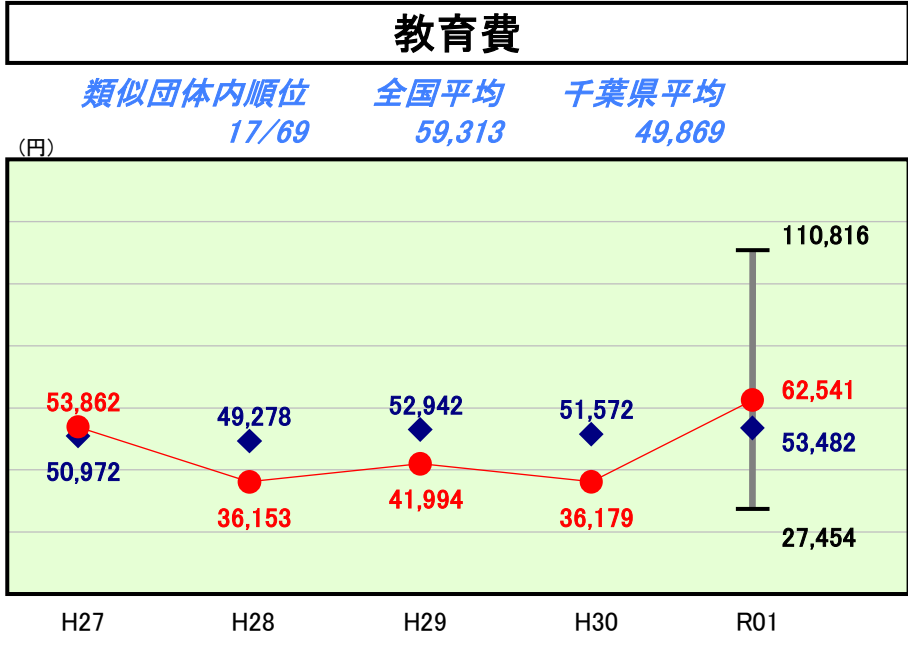
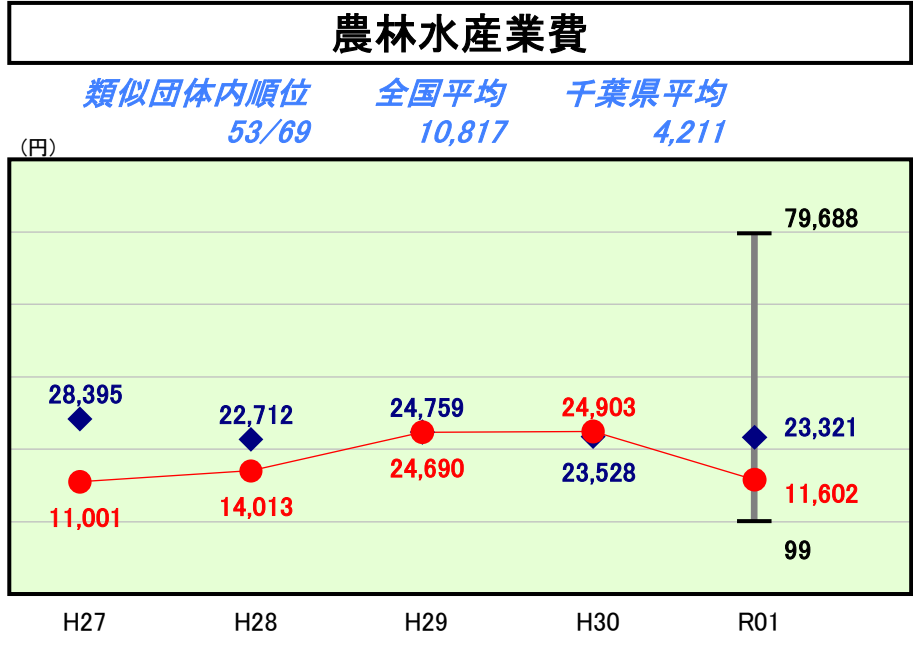
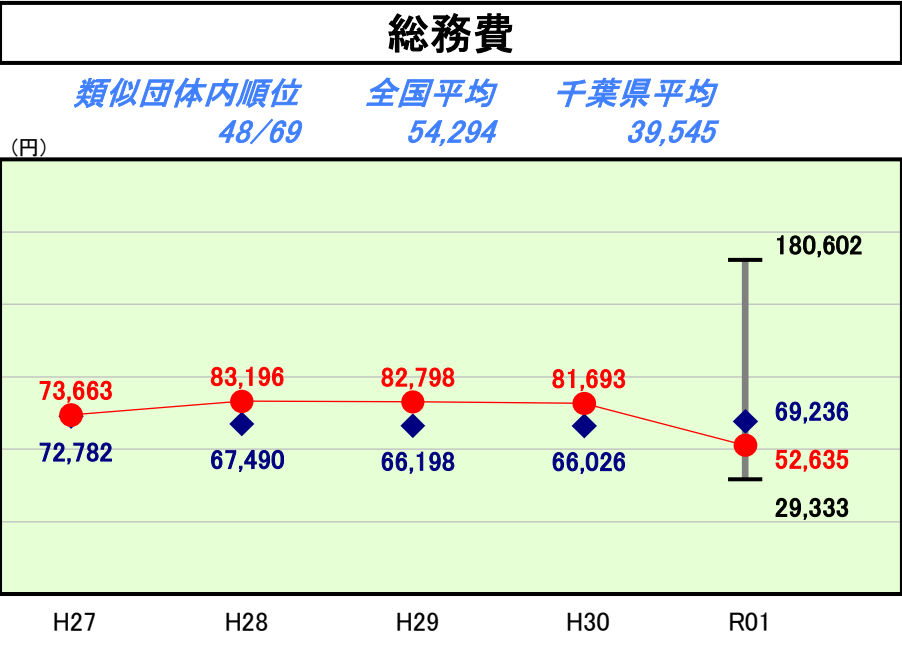
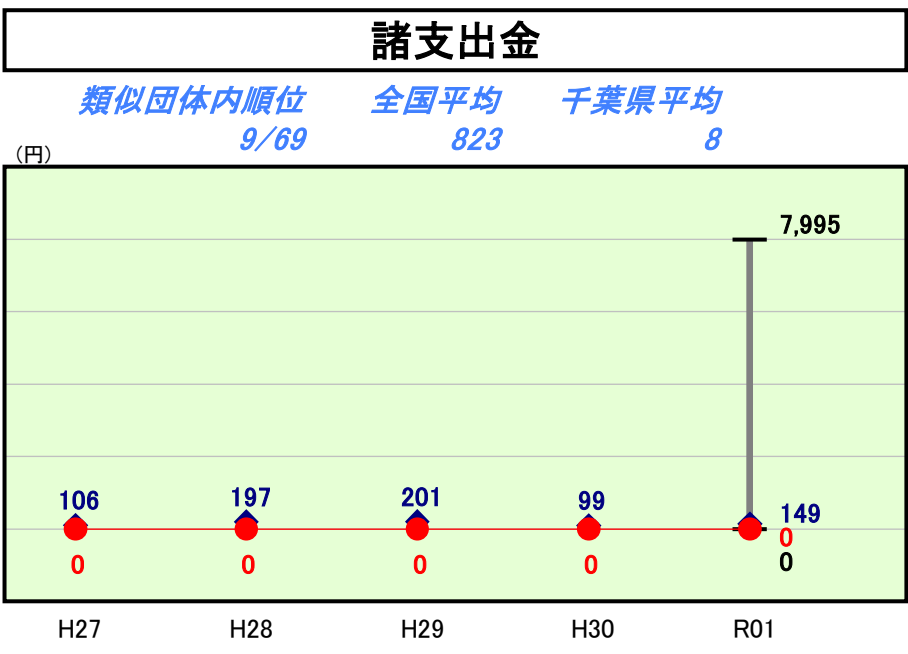
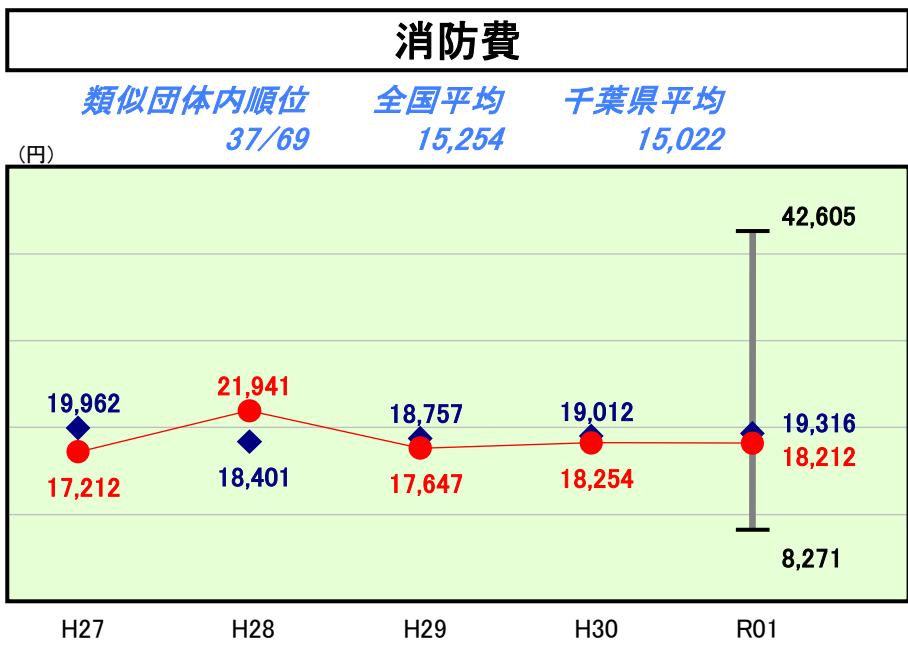
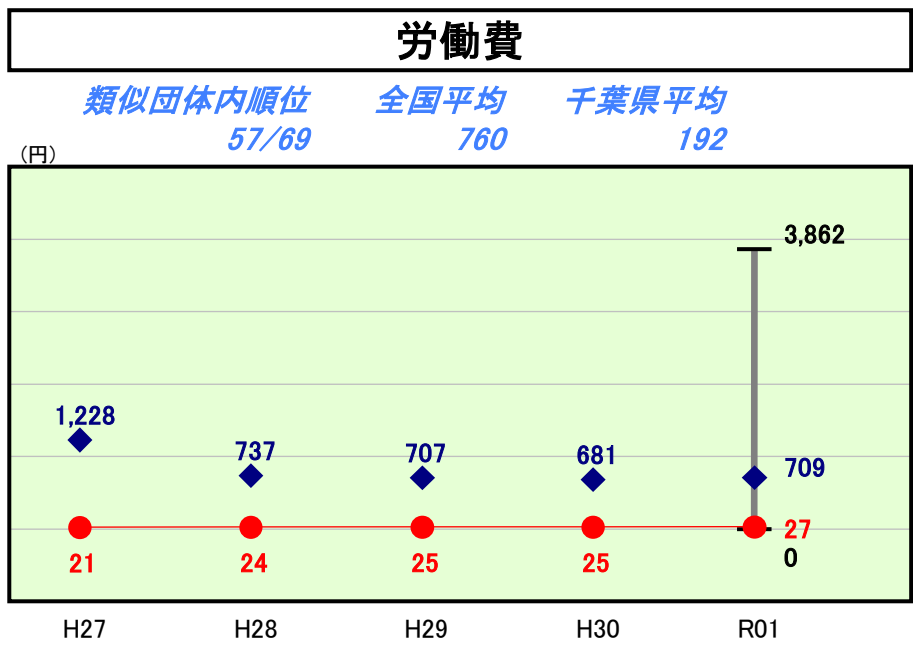
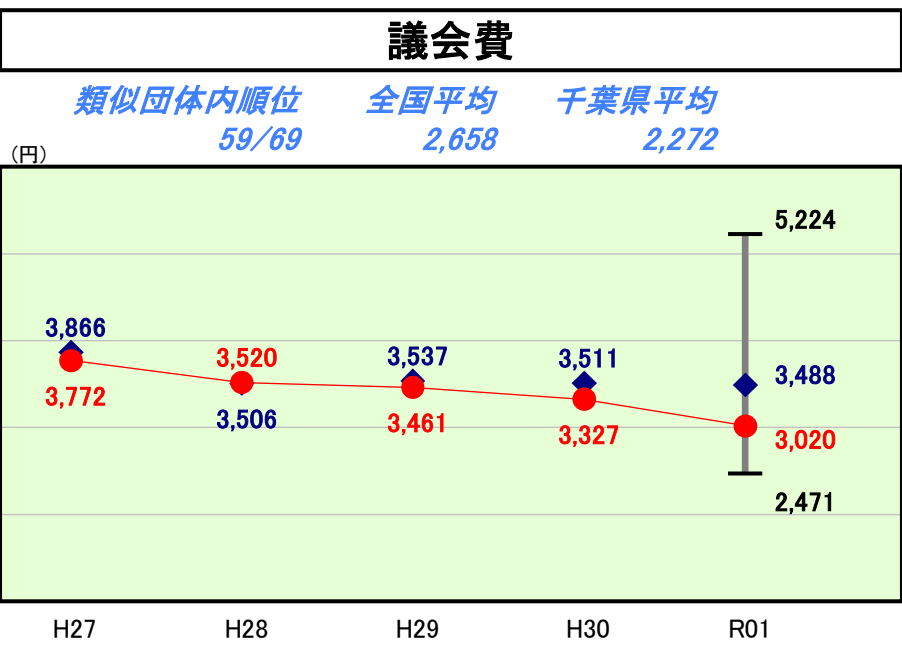
人口	65,305人(R2.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	63,790人(R2.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	130.45km ²	実質公債費比率	7.9%
歳入総額	34,611,753千円	将来負担比率	-%
歳出総額	32,090,129千円	市町村類型	H27Ⅱ-1H28Ⅱ-1H29Ⅱ-1
実質収支	1,844,807千円	(年度毎)	H30Ⅱ-1R01Ⅱ-1
標準財政規模	17,769,457千円		
地方債現在高	32,346,337千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析欄

・総務費は、前年度から29,058円と大幅に減少し、住民一人当たり52,635円となった。H29は合併特例債(基金造成分)の地域振興基金積立金、H30は新庁舎建設事業の前払金があったため類似団体平均を上回っていた。R2は新庁舎の本体工事があり、数値が大幅に上昇することが見込まれるが、今後も臨時的な支出がない限りは数値を抑えていきたい。

・民生費は、前年度から4,965円増加し、住民一人当たり135,135円となった。消費税の引き上げによる経済対策として実施したプレミアム付き商品券事業等により、前年度比で3.8%の増となったものの類似団体と比較すると35,118円低い状況である。今後も社会保障関係経費の増加が見込まれるため、事業の必要性を十分精査し数値の急増を抑えたい。

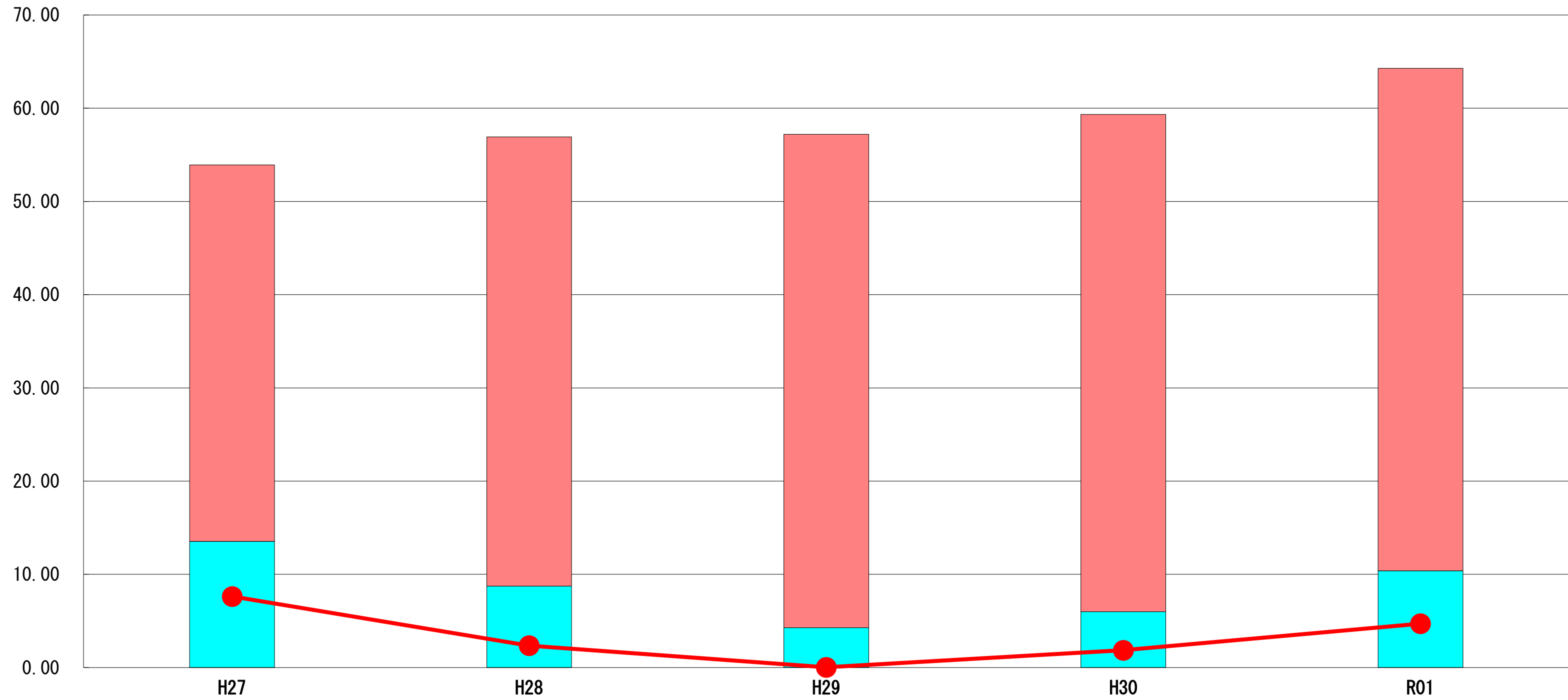
・衛生費は、前年度から39,167円と大幅に増加し、住民一人当たり121,396円となった。旭中央病院への看護師宿舎整備に対する貸付金が増加したことにより、前年度比で47.6%の増となっている。類似団体平均と比較すると、78,551円と高い状況である。これは旭中央病院への負担金や貸付金が主な要因となっているもので、今後も類似団体平均より高い状況が見込まれる。また、広域ごみ処理施設建設事業の進捗状況により、市の負担金が増加することが影響し、R2は更に高い状況となることが予想される。旭中央病院の貸付金に関しては、年度により金額の増減が大きく、医療機器に關しても高額となるが、毎年起債の償還分を病院事業管理特別会計で収入し返済をしているため市の実質負担はない。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和元年度

千葉県旭市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H27	H28	H29	H30	R01
財政調整基金残高		40.39	48.19	52.94	53.34	53.91
実質収支額		13.53	8.73	4.27	6.00	10.38
実質単年度収支		7.63	2.35	0.03	1.86	4.71

分析欄

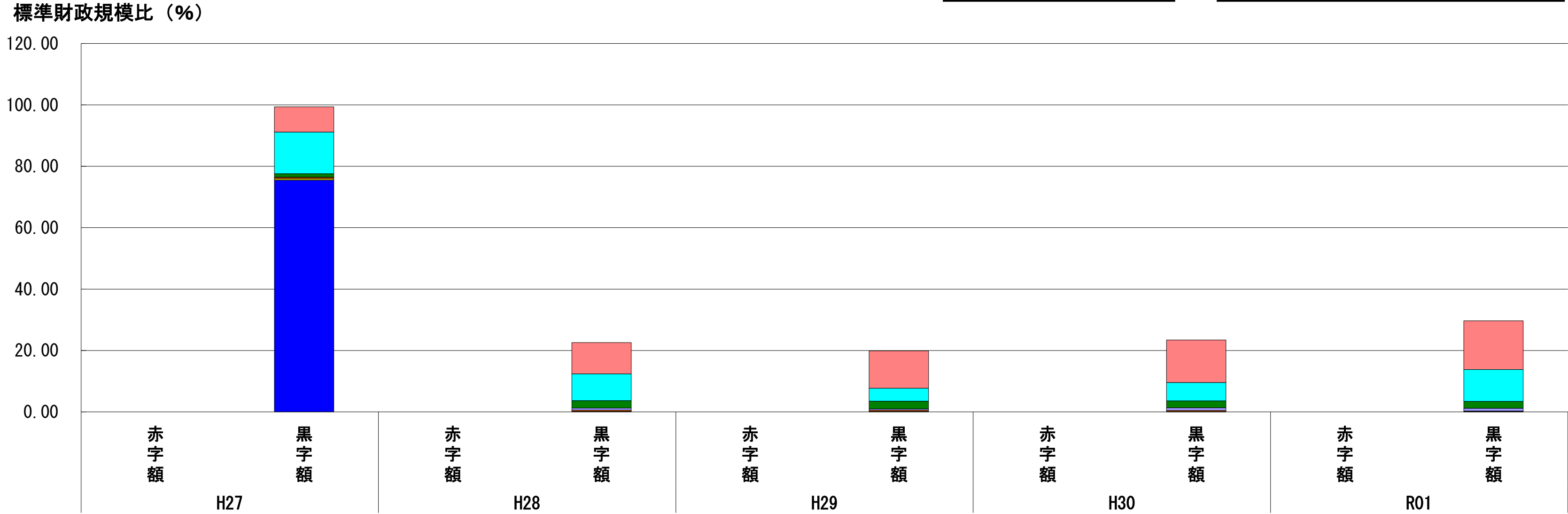
・財政調整基金残高について、令和元年度は基金を402百万円取り崩したものの、決算剰余金の積立や利子の運用益等の積立により微増しており、標準財政規模比で0.57ポイント増加した。

実質収支額については、歳入は、広域ごみ処理施設建設事業等に伴う地方債の増が主な要因となり、2,556百万円増加した。歳出は、広域ごみ処理施設建設事業の進捗による補助費の増が主な要因となり、1,750百万円増加した。実質収支額は、前年度比72.4%、775百万円の増となった。実質収支比率では10.4%となり、適正数値と言われる3～5%を基準とすると、高い数値となった。今後、合併特例措置の終了や大規模事業の施工が見込まれるが、適正な財政運

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和元年度

千葉県旭市



標準財政規模比（％）

会計	年度	H27	H28	H29	H30	R01
旭市水道事業会計		8.25	10.17	12.12	13.80	15.86
一般会計		13.53	8.73	4.27	5.99	10.38
旭市国民健康保険事業特別会計（事業）		1.16	2.43	2.49	2.28	2.26
旭市介護保険事業特別会計		0.08	0.66	0.42	0.87	0.87
旭市下水道事業特別会計		0.46	0.40	0.41	0.34	0.20
旭市後期高齢者医療特別会計		0.39	0.09	0.06	0.06	0.06
旭市国民健康保険事業特別会計（施設）		0.02	0.03	0.03	0.04	0.03
旭市農業集落排水事業特別会計		0.02	0.06	0.06	0.02	0.01
その他会計（赤字）		－	－	－	－	－
その他会計（黒字）		75.48	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

・連結赤字比率については、平成19年度以降、一般会計及び特別会計の実質収支額に赤字が生じたことはなく、また、公営企業会計においても資金不足額が生じたことはないため、連結赤字比率は算出されていない。

今後も赤字や資金不足が生じないよう、適正な財政運営に努める。

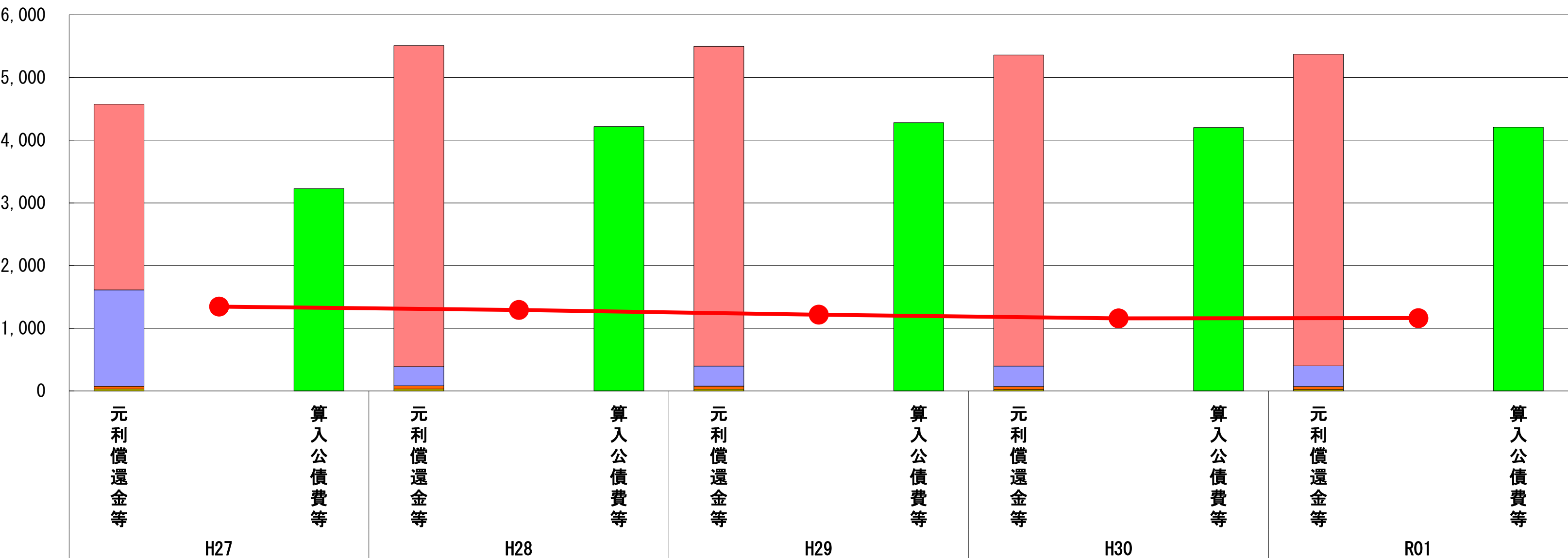
※令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和元年度

千葉県旭市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H27	H28	H29	H30	R01
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,962	5,122	5,101	4,960	4,970
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,537	304	320	326	330
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		43	53	49	48	48
	債務負担行為に基づく支出額		31	29	27	24	22
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		3,228	4,217	4,280	4,200	4,208
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,345	1,291	1,217	1,158	1,162

分析欄

・前年度と比べ元利償還金が10百万円増加し、算入公債費等は8百万円増加している。実質公債費比率は、合併前に借り入れをした交付税算入率の低い起債の償還が進んだこと等により、3ヵ年平均では前年度より減少しているものの、単年度では増加している。大型事業の起債の償還が開始したことが単年度増の主な要因である。

臨時財政対策債の算入額が増加したことや、交付税措置率の高い起債（合併特例債など）の借り入れにより算入公債費が増加しているため実質公債費比率は大幅に増加していないものの、起債の借入額が多くなれば比率は上昇していくので、事業の必要性を精査したうえで、実施する事業に関しては有利な財源を活用し、数値の急増を抑えたい。

今後は、令和2年度に新庁舎建設事業や広域ごみ処理施設建設事業などの大規模事業が控えており、それらに対して地方債を活用する予定である。大規模事業分の償還

※1 令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
(参考)

		年度	H26末	H27末	H28末	H29末	H30末
※2 減債基金積立状況等	減債基金残高（注）		-	-	-	-	-
	減債基金積立相当額		-	-	-	-	-

分析欄

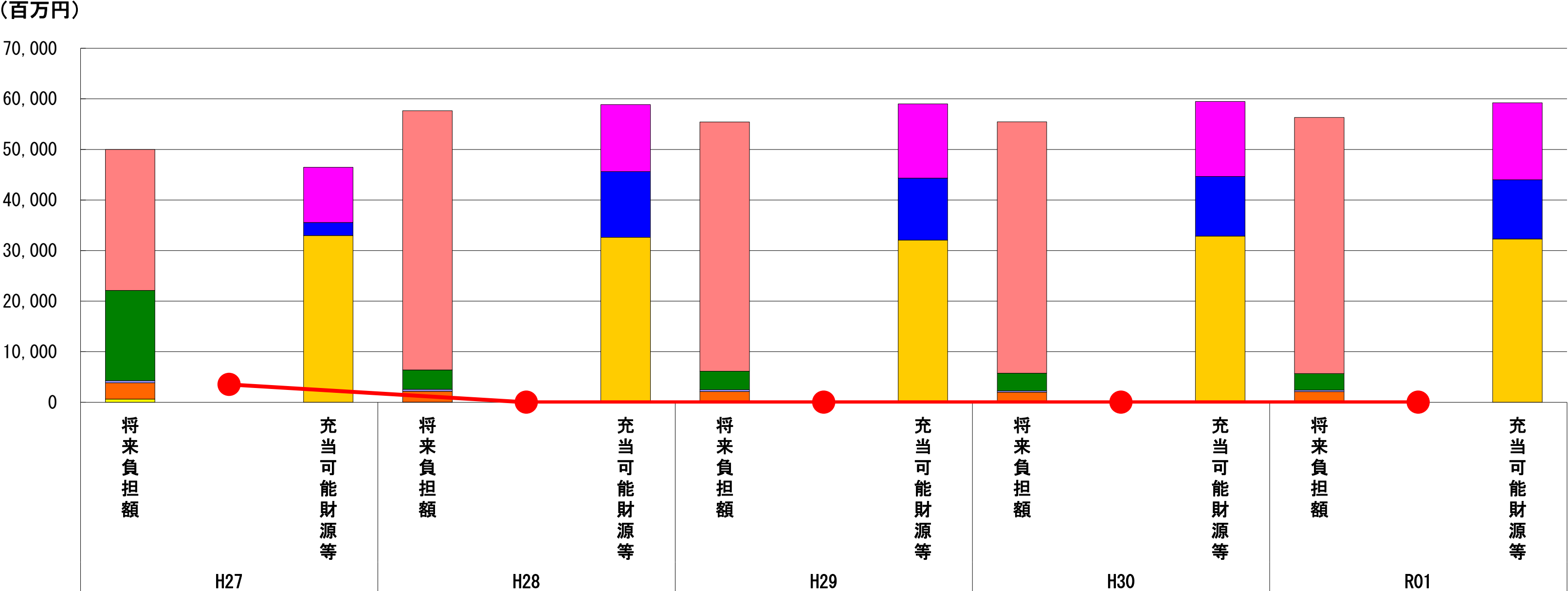
満期一括償還地方債を借入していない。

(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和元年度

千葉県旭市



		(百万円)					
分子の構造		年度	H27	H28	H29	H30	R01
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高		27,875	51,244	49,283	49,725	50,642
	債務負担行為に基づく支出予定額		－	－	－	－	－
	公営企業債等繰入見込額		17,828	3,835	3,632	3,452	3,257
	組合等負担等見込額		435	392	349	309	319
	退職手当負担見込額		3,246	2,164	2,143	1,963	2,074
	設立法人等の負債額等負担見込額		617	21	7	13	14
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		－	－	－	－	－
	連結実質赤字額		－	－	－	－	－
	組合等連結実質赤字額負担見込額		－	－	－	－	－
充当可能財源等(B)	充当可能基金		10,930	13,281	14,676	14,840	15,222
	充当可能特定歳入		2,579	12,978	12,247	11,775	11,733
	基準財政需要額算入見込額		32,970	32,623	32,076	32,875	32,275
(A)－(B)	将来負担比率の分子		3,521	▲ 1,227	▲ 3,584	▲ 4,028	▲ 2,924

分析欄

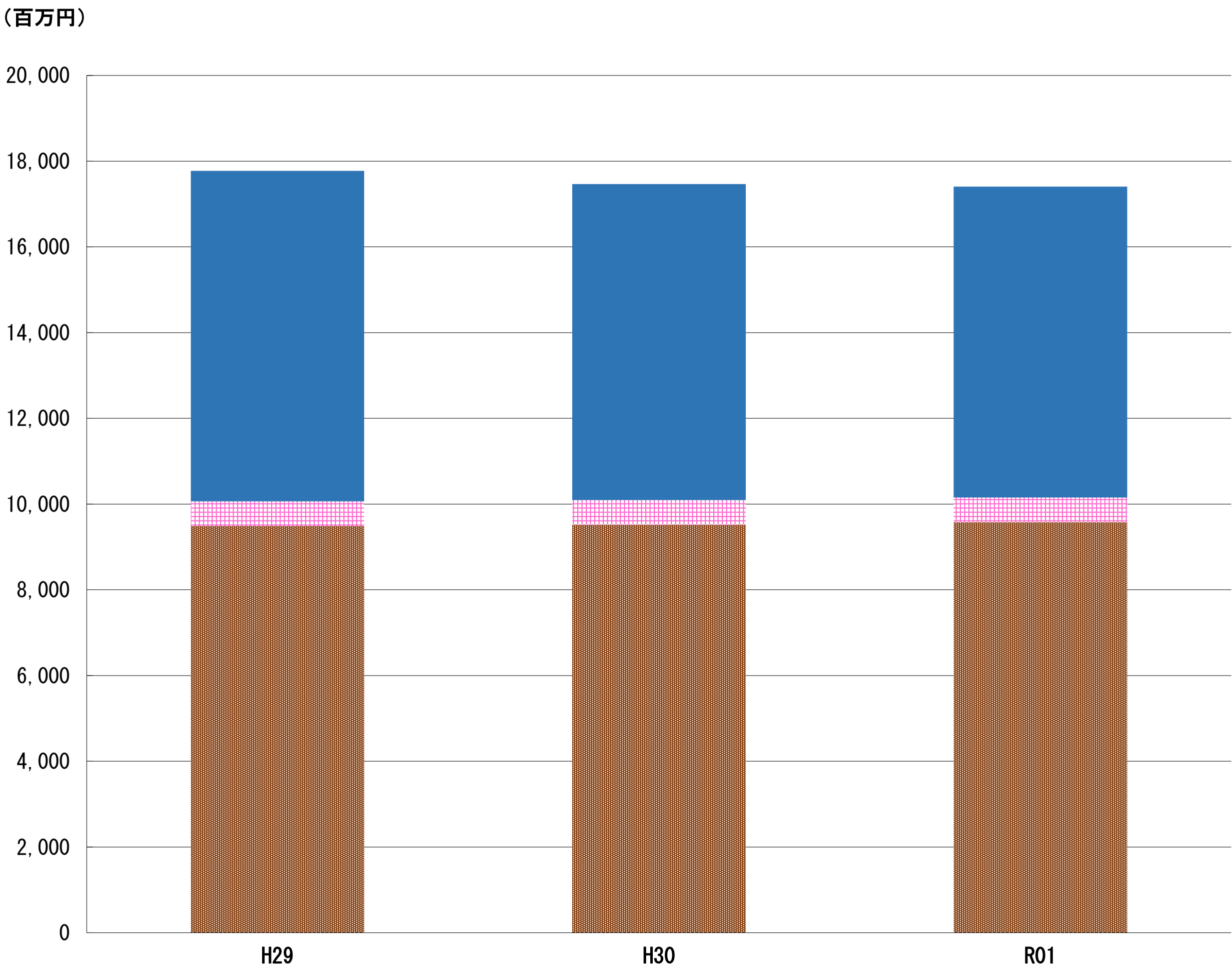
・一般会計等に係る地方債の現在高は前年度から917百万円増加し、50,642百万円となった。地方債の償還が進んでいる一方で、広域ごみ処理施設建設事業や小中学校の空調設備改修工事に係る新規の借入を行ったことが要因である。将来負担額としては前年度から844百万円増加し、56,306百万円となった。

令和元年度も、交付税措置の有利な起債の活用を徹底したことや計画的な基金の積立などにより、充当可能財源等が将来負担額を上回ったため、将来負担比率は算定されなかった。

今後、令和2年度に新庁舎建設事業や広域ごみ処理施設建設事業などの大規模事業が控えていることや公共施設の集約化・長寿命化等により地方債の借入額は増加することが予想される。計画的な基金運用や交付税措置の有利な起債の活用を徹底するなど、将来負担比率の上昇の抑制に努めていく。

※令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



		(百万円)		
区分	年度	H29	H30	R01
財政調整基金		9,489	9,518	9,579
減債基金		576	576	576
其他特定目的基金		7,709	7,372	7,253
	地域振興基金	2,995	2,860	2,762
	庁舎整備基金	2,048	1,919	1,910
	公共施設等整備基金	1,000	1,002	1,004
	災害復興基金	1,015	966	941
	東日本大震災復興交付金基金	356	283	260
基金残高合計		17,774	17,466	17,408

令和元年度	千葉県旭市
基金全体 (増減理由) 基金の運用から生ずる収益等154百万円や財政調整基金に決算剰余金を390百万円を積み立てた。一方で、台風等の災害により財政調整基金402百万円、その他地域振興関連の事業や復興関連事業等に200百万円の取り崩しを行った結果、一般会計全体で58百万円の減となり令和元年度末現在高は17,408百万円となった。 (今後の方針) 新庁舎建設事業や広域ごみ処理施設整備事業などの大型事業が一層進み、また施設の集約化・長寿命化に伴う施設再編などが見込まれることから、財政調整基金をはじめ、各種特定目的基金（公共事業等整備基金、庁舎整備基金など）を長期的かつ計画的に積み立て、活用することを検討する。	
財政調整基金 (増減理由) 定期預金や債券購入による運用収益74百万円、決算剰余金390百万円、計464百万円を積み立てたものの、台風等の災害関係経費で402百万円取り崩したため、62百万円の増となり財政調整基金の令和元年度末現在高は9,579百万円となった。 (今後の方針) 新庁舎建設事業や広域ごみ処理施設整備事業などの大型事業が一層進み、また施設の長寿命化に伴う施設再編などが見込まれることから、計画的に活用することを検討する。また、令和元年度の台風等災害のような予期せぬ事態に備え適切な積み立てを行う。	
減債基金 (増減理由) 定期預金による運用収益の増 (今後の方針) 合併特例債等の借り入れが進み、今後は市債の元金償還額が増えていく。公共施設等の老朽化が進み、集約化・長寿命化等による経費の増大が見込まれる。このことから、市債の償還財源として取り崩しも視野に入れて検討していく。	
其他特定目的基金 (基金の使途) - 公共施設等整備基金：市が所有する施設等の整備及び保全に必要な財源を確保し、将来にわたって適切に維持管理していく。 - 庁舎整備基金：新庁舎の整備の財源へ充当する。 - 災害復興基金：東日本大震災の復旧復興や災害に強い安全なまちづくり事業に充当する。 - 東日本大震災復興交付金基金：「東日本大震災復興特別区域法」に規定する復興交付事業に充当する。 - 地域振興基金：市民まちづくり活動支援事業をはじめ、各種地域振興事業の財源とすることで、地域住民の連携強化や地域振興を図る。 - ふるさと応援基金：地域住民の連帯の強化、地域振興のための事業の財源に充当する。 - 道の駅整備基金：道の駅の施設維持管理及び大規模改修や増改築に必要な財源へ充当する。 - 地域福祉基金：社会福祉事業経費の財源へ充当する。 - 森林環境整備基金：木材の利用促進や普及啓発等の事業に要する経費の財源へ充当する。 - 雇用促進住宅整備基金：雇用促進住宅及び共同施設の整備や取り壊しの財源へ充当する。 - 育英基金：将来本市の発展に寄与するため教育機関等で知識または技能を習得する者に給付する。 (増減理由) - 公共施設等整備基金：定期預金による預金利子収入3百万円の増 - 庁舎整備基金：取り崩し額から預金利子収入を差し引き、9百万円の減。 - 災害復興基金：取り崩し額から預金利子収入を差し引き、26百万円の減。 - 東日本大震災復興交付金基金：取り崩し額から預金利子収入を差し引き、23百万円の減。 - 地域振興基金：取り崩し額から預金利子収入を差し引き、99百万円の減。 (今後の方針) 今後、新庁舎建設事業や広域ごみ処理施設整備事業などの大型事業が一層進み、また施設の長寿命化に伴う施設再編などが見込まれている	

(12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

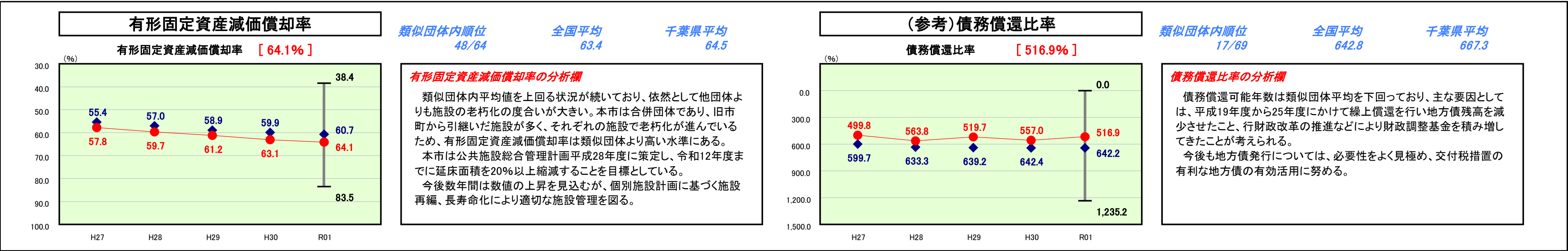
令和元年度

千葉県旭市

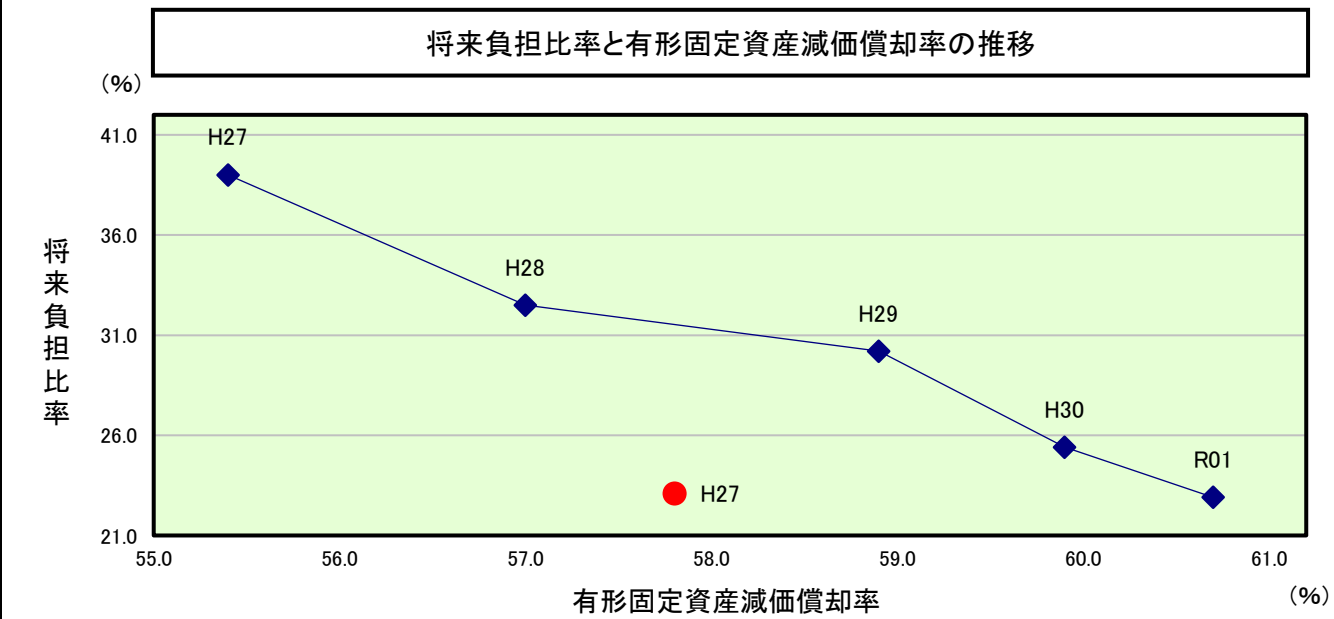
人	65,305	人(R2.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	63,790	人(R2.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	130.45	k㎡	実質公債費比率	7.9	%
歳入総額	34,611,753	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	32,090,129	千円	市町村類型	H27Ⅱ－1	H28Ⅱ－1
実質収支	1,844,807	千円	(年度毎)	H30Ⅱ－1	R01Ⅱ－1
標準財政規模	17,769,457	千円			
地方債現在高	32,346,337	千円			



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還比率、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。
- ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



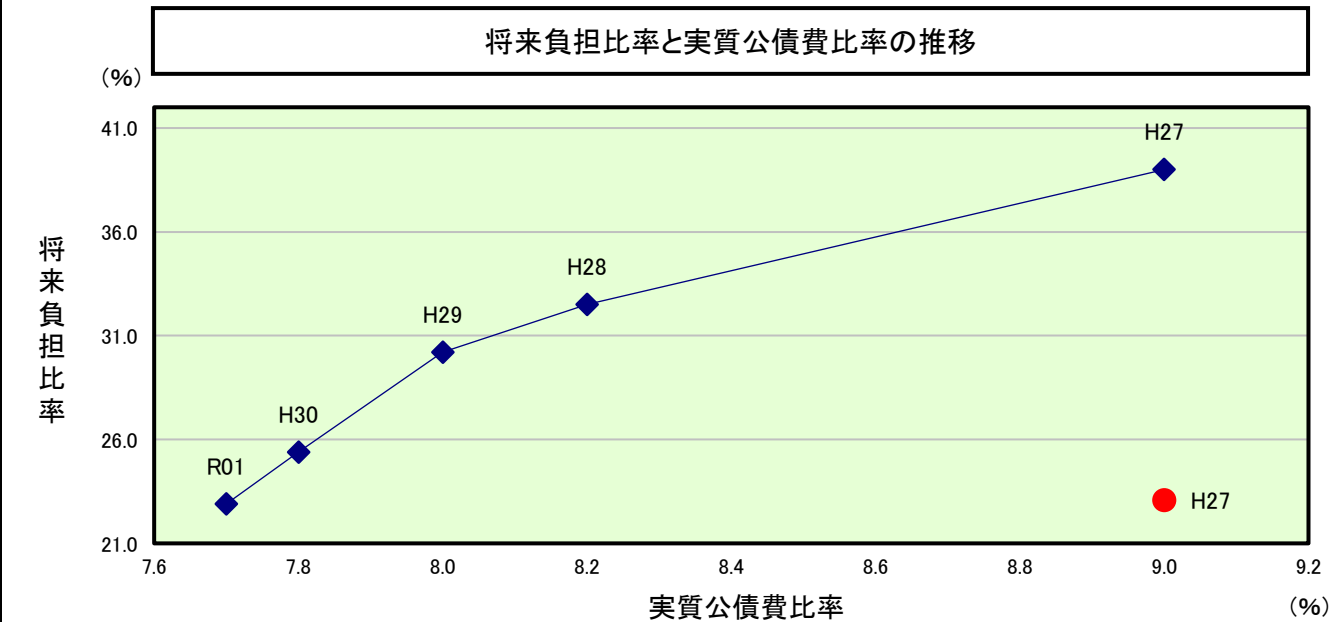
将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



分析欄
将来負担比率については、充当可能財源の増などにより平成28年度以降は算出されていないものの、有形固定資産減価償却率については依然として上昇傾向にあり、今後も上昇することが見込まれる。今後、新庁舎建設や広域ごみ処理施設建設、施設の統廃合などの大規模な支出が見込まれるが、各事業の必要性を十分に精査し、事業を執行する際には有利な財源を積極的に活用し将来負担比率の上昇を抑え、総合管理計画及び個別施設計画に基づき適切な施設管理を着実に進めていく。

(参考)		H27	H28	H29	H30	R01
当該団体値	将来負担比率	23.1	-	-	-	-
	有形固定資産減価償却率	57.8	59.7	61.2	63.1	64.1
類似団体内平均値	将来負担比率	39.0	32.5	30.2	25.4	22.9
	有形固定資産減価償却率	55.4	57.0	58.9	59.9	60.7

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



分析欄
将来負担比率については、充当可能財源の増などにより平成28年度以降は算出されていない。実質公債費比率については、類似団体と比較してやや高い水準にはあるものの低下傾向にある。今後は新庁舎建設などの大型事業が控えているが、交付税措置の有利な地方債の活用により、急激な増大の抑制に努める。

(参考)		H27	H28	H29	H30	R01
当該団体値	将来負担比率	23.1	-	-	-	-
	実質公債費比率	9.0	8.6	8.5	8.2	7.9
類似団体内平均値	将来負担比率	39.0	32.5	30.2	25.4	22.9
	実質公債費比率	9.0	8.2	8.0	7.8	7.7

(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

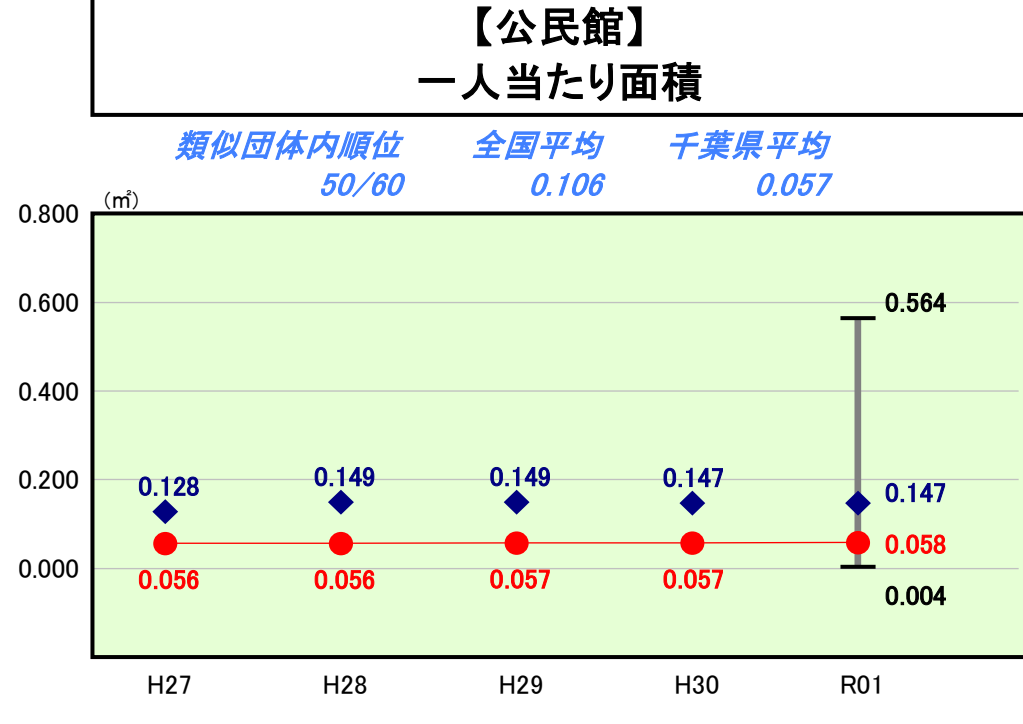
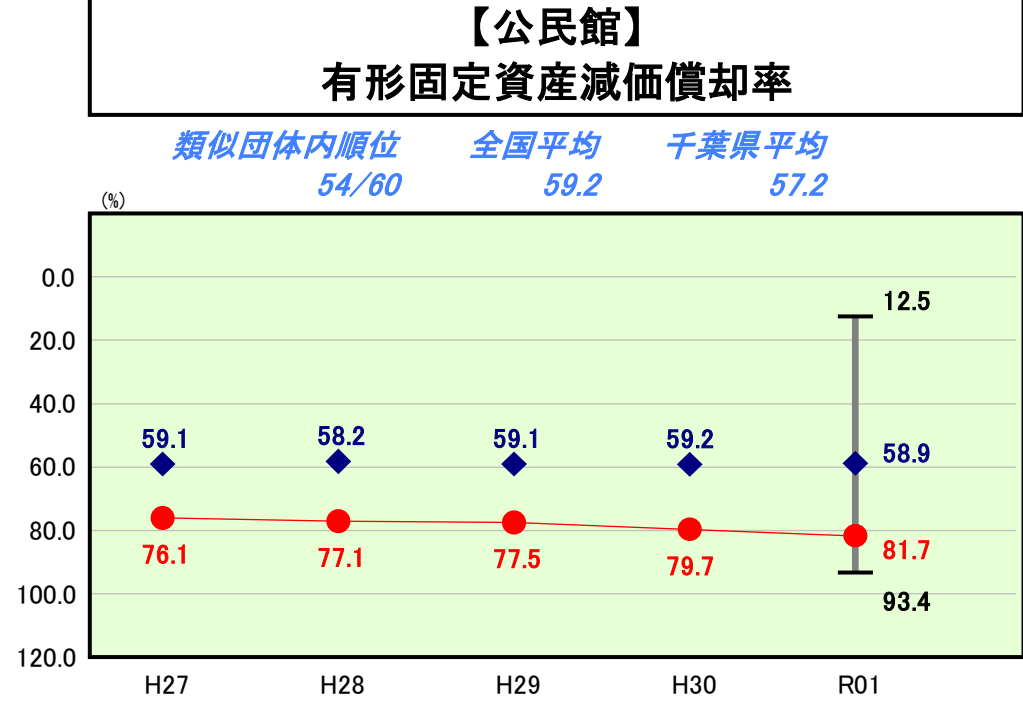
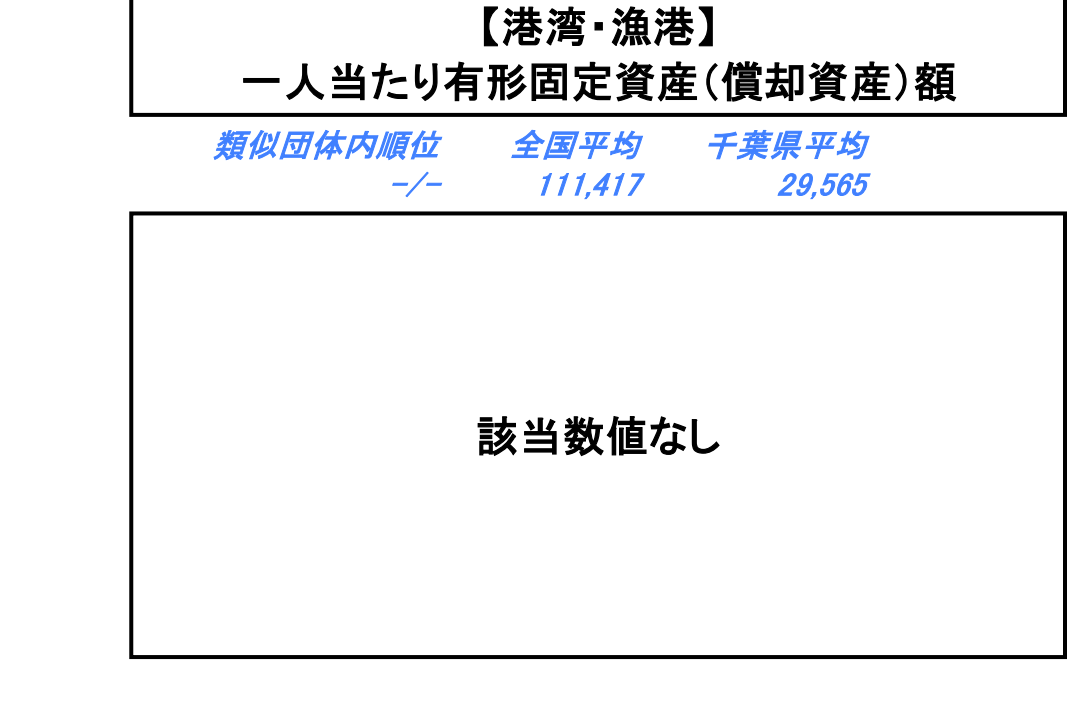
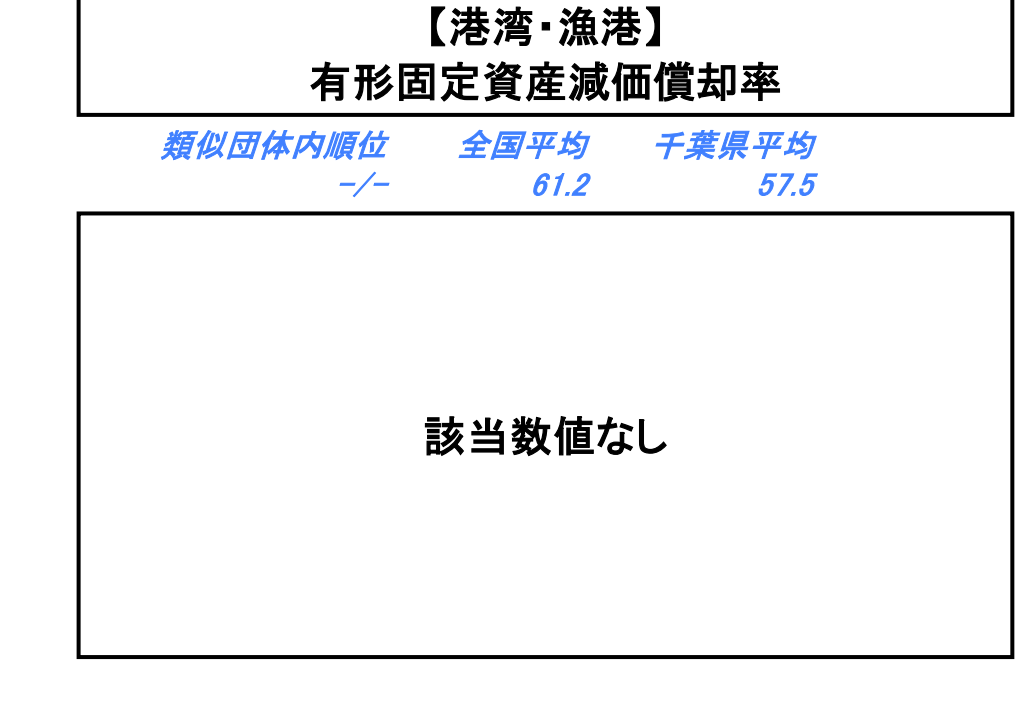
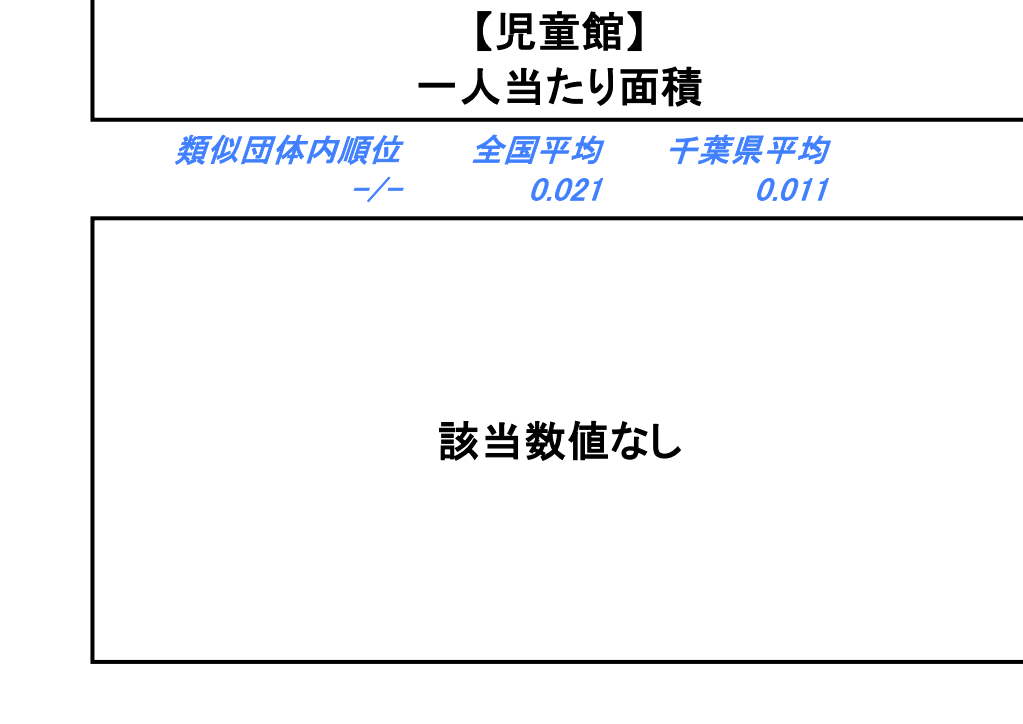
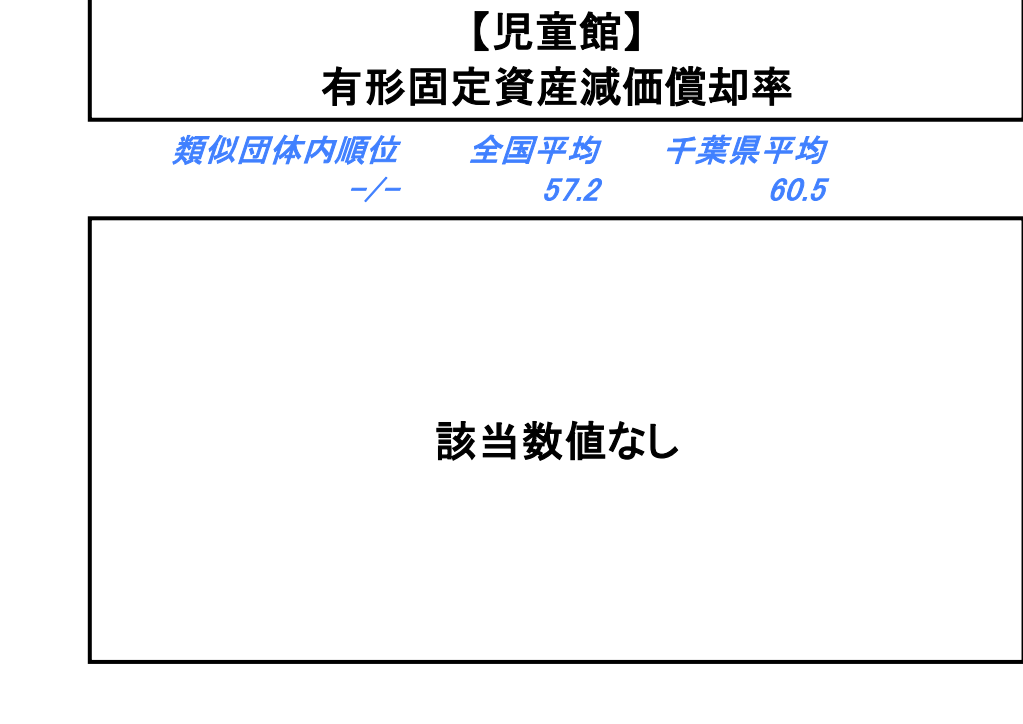
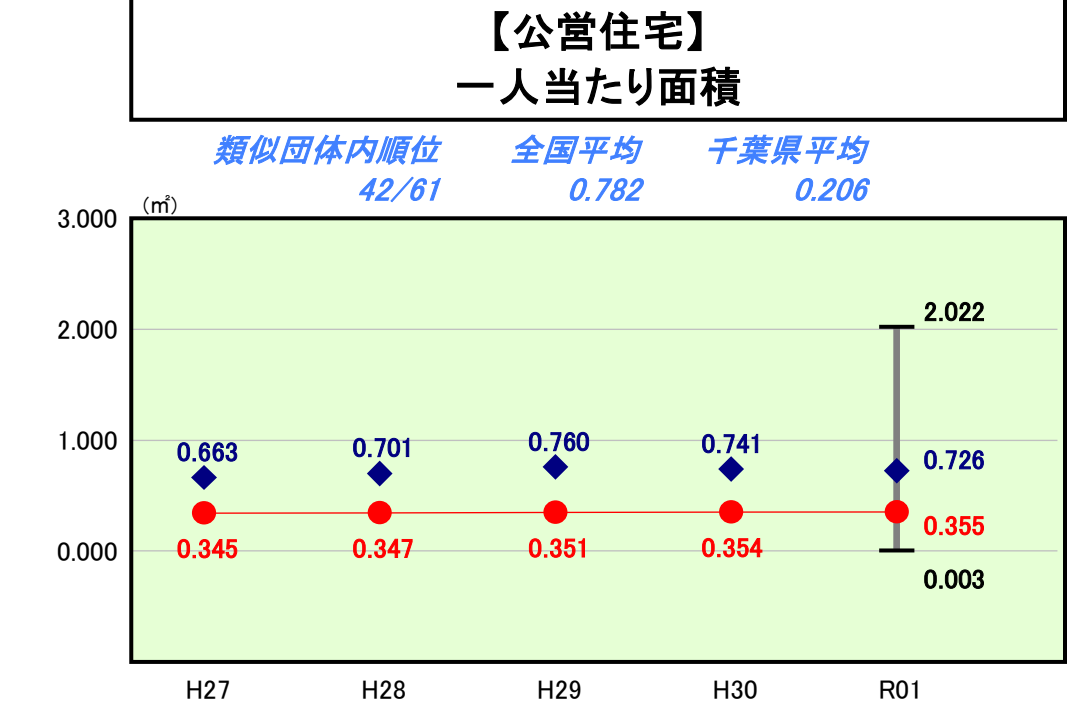
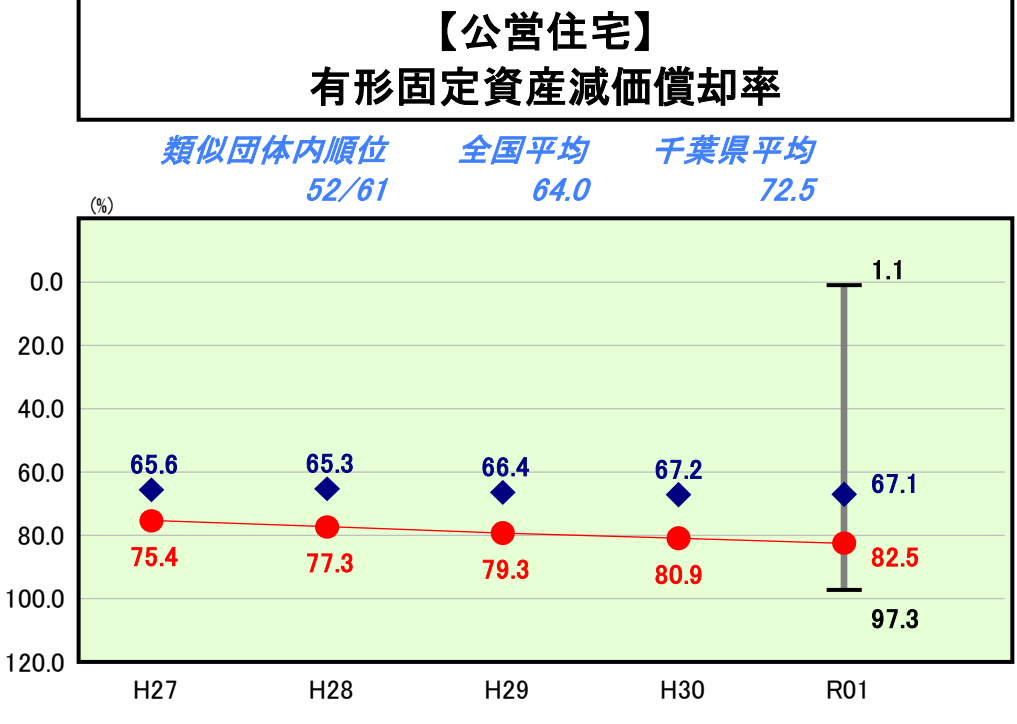
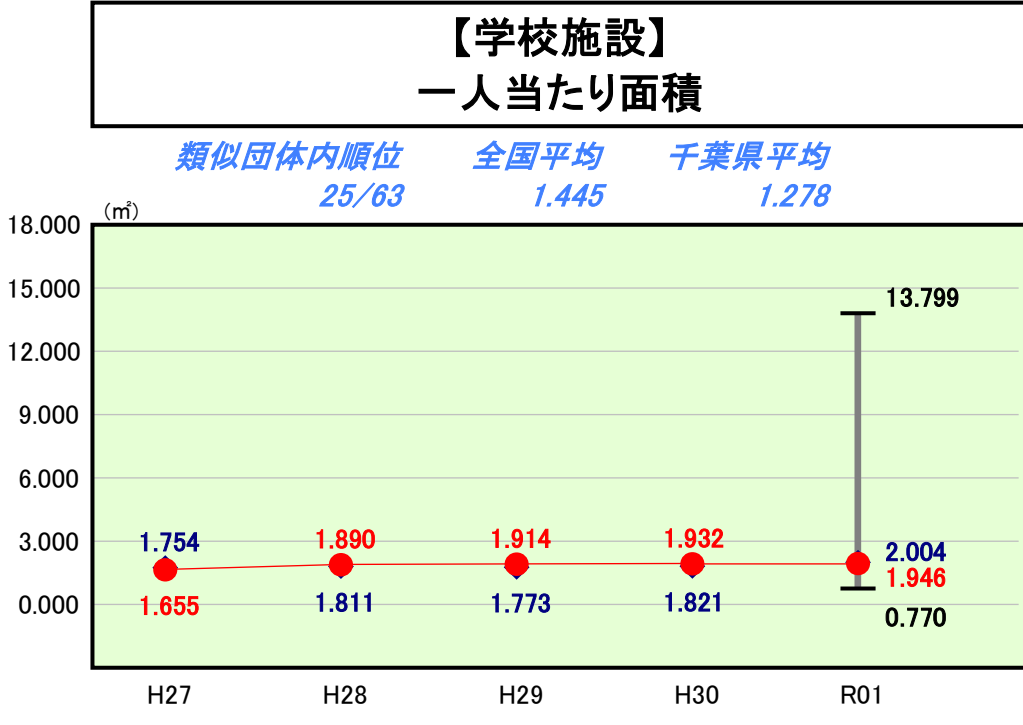
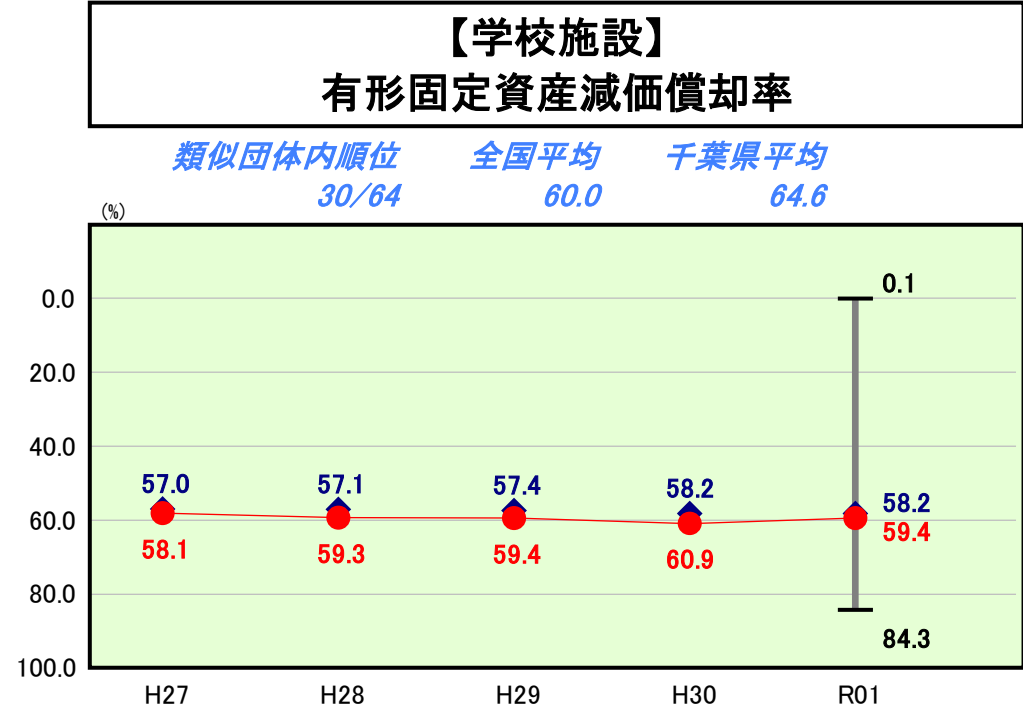
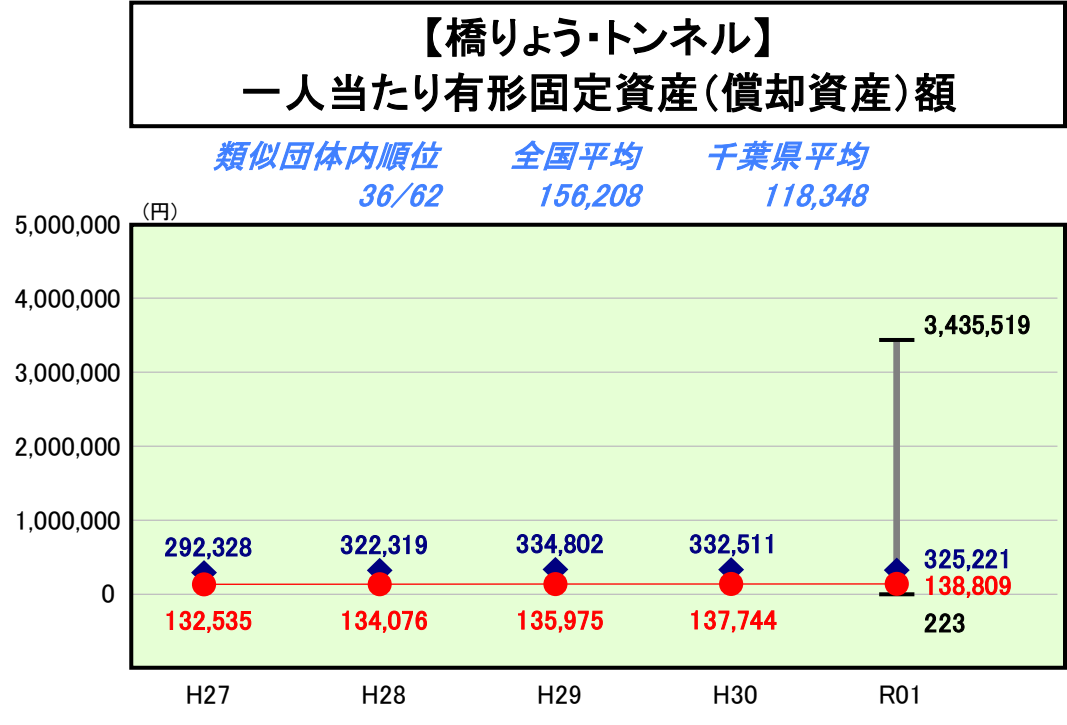
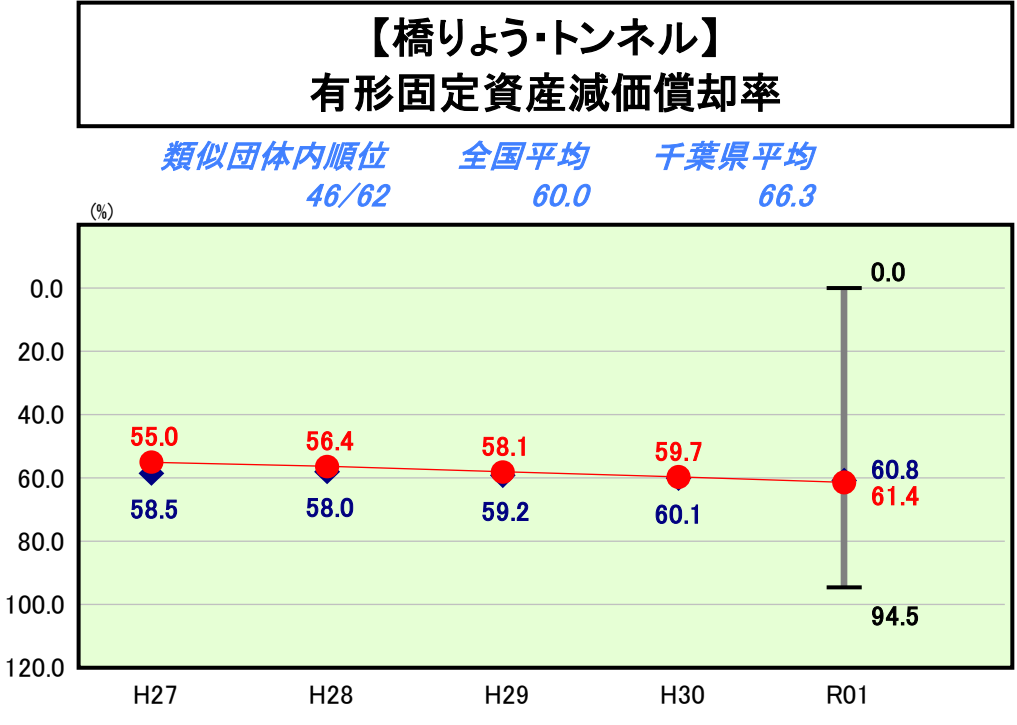
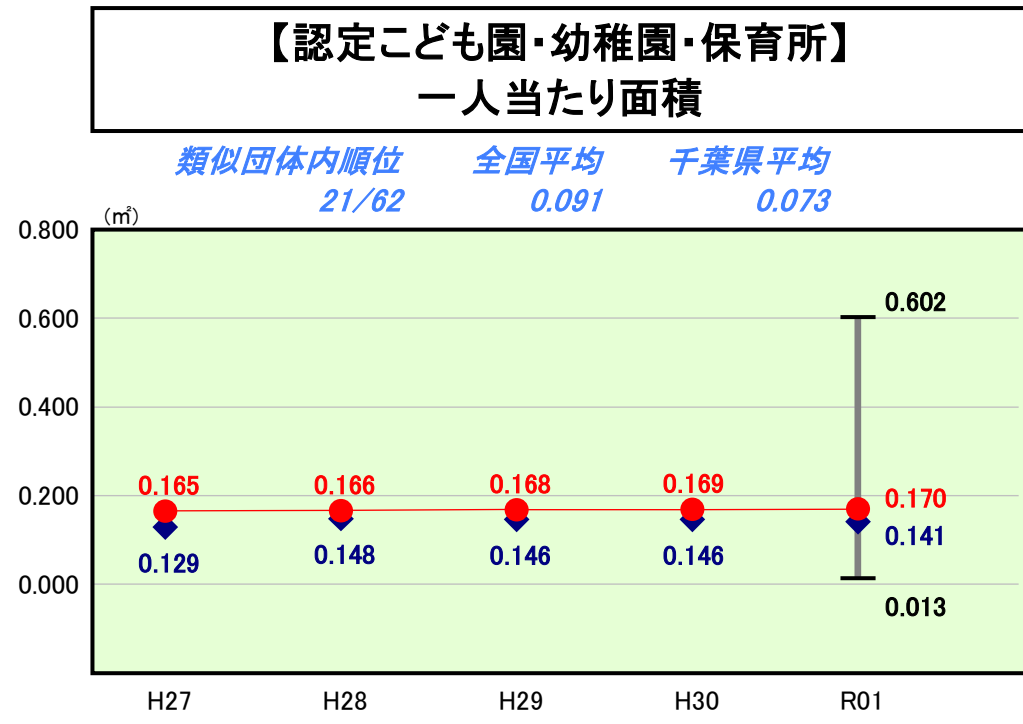
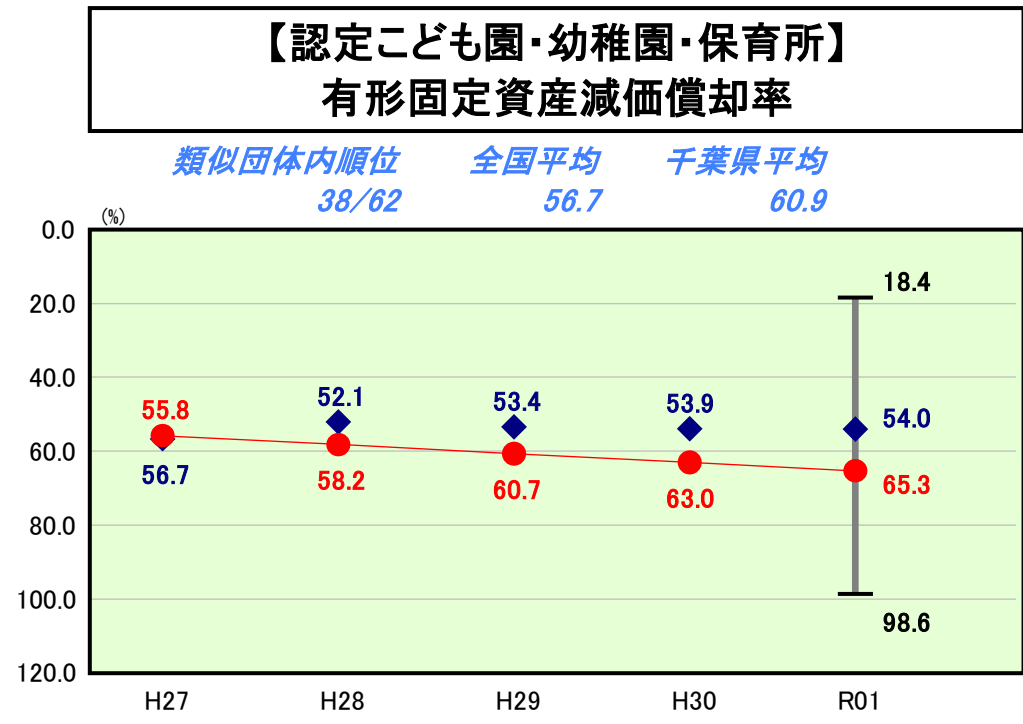
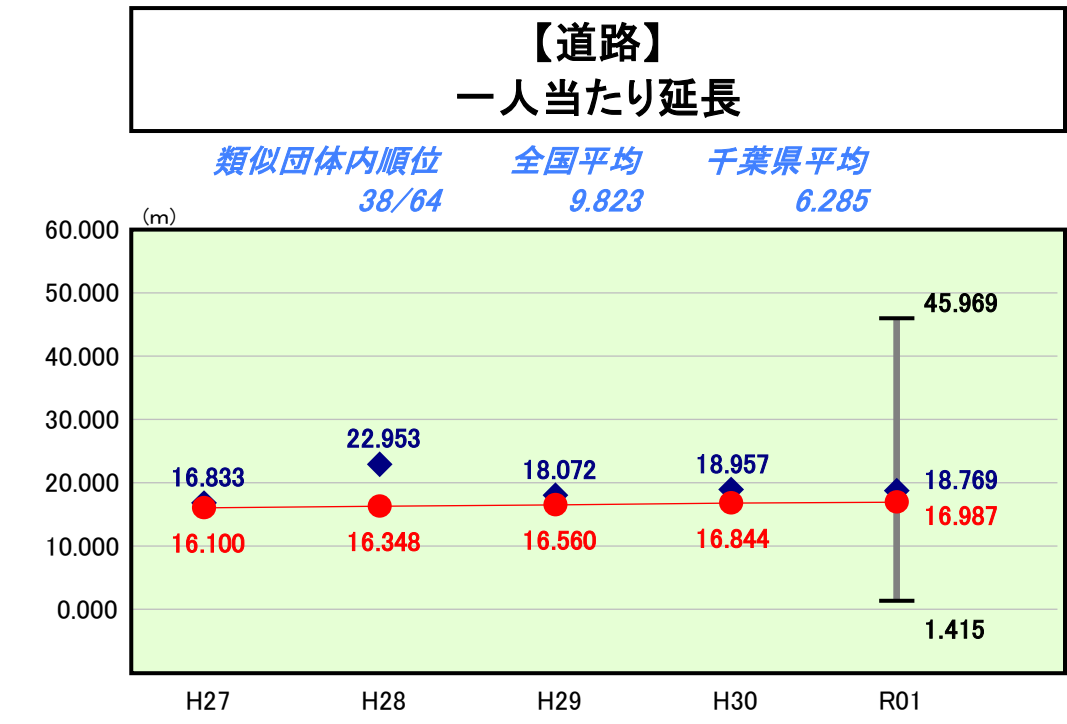
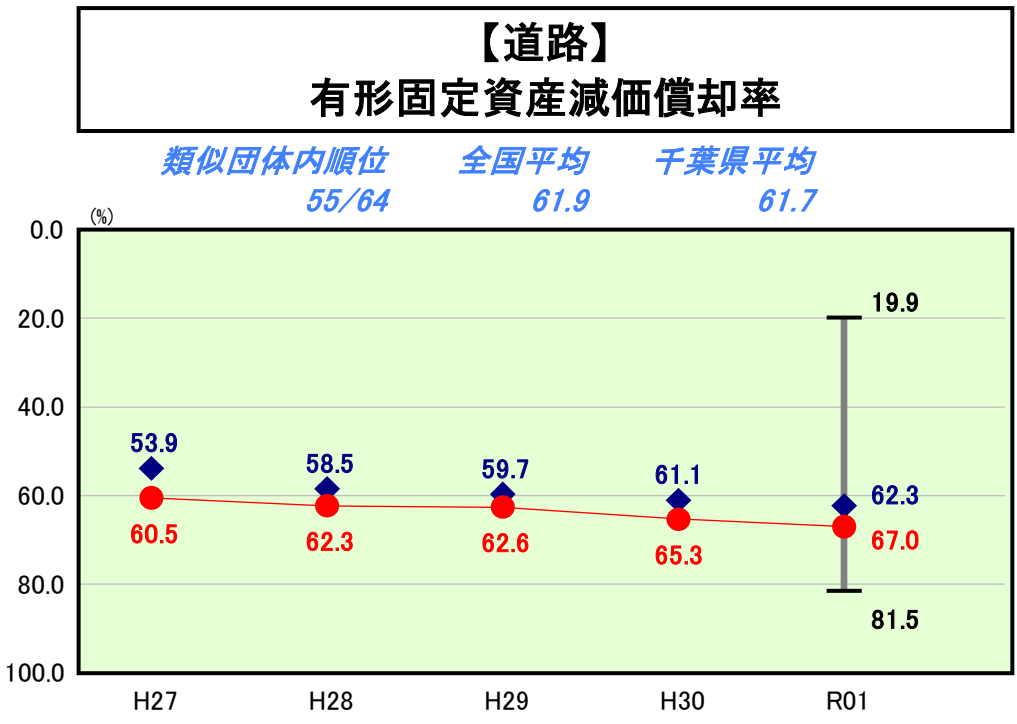
令和元年度

千葉県旭市

人	65,305	人(R2.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	63,790	人(R2.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率
積	130.45	k㎡	実	質	公	債	費	比	率	7.9%
歳入総額	34,611,753	千円	将	来	負	担	比	率	-	%
歳出総額	32,090,129	千円	市	町	村	類	型		H27Ⅱ-1	H28Ⅱ-1
実質収支	1,844,807	千円	(	年	度	毎	)		H30Ⅱ-1	R01Ⅱ-1
標準財政規模	17,769,457	千円								
地方債現在高	32,346,337	千円								



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



施設情報の分析欄

合併前から使用している施設の統廃合が遅れているため、有形固定資産減価償却率の微増が続いている。また、市民一人当たり面積の項目が微増傾向にあるのは人口減少が反映されているためである。

公営住宅については、戸数別で見ると、全体の7割以上が耐用年数を超過しているため、類似団体と比べて有形固定資産減価償却率が高くなっている。また、市民一人当たり面積は、平成26年度に東日本大震災災害公営住宅を新規整備したため、類似団体よりも高い数値を示している。今後は、将来の人口動態予測や公営住宅の需要に注視しながら、入居者の集約化を図り、耐用年数を超過した住宅の撤去・解体を進めていく。

2つある市民会館については、ともに建築から35年以上が経過している。特に干潟公民館は、耐震性や環境安全性の面で課題のある施設であるため、令和2年度に建物を除却する。また、干潟公民館の機能については他の社会教育施設とともに別施設へ集約し、行政事務の効率化を図る。

(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

人	65,305	人(R2.1.1現在)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
---	--------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



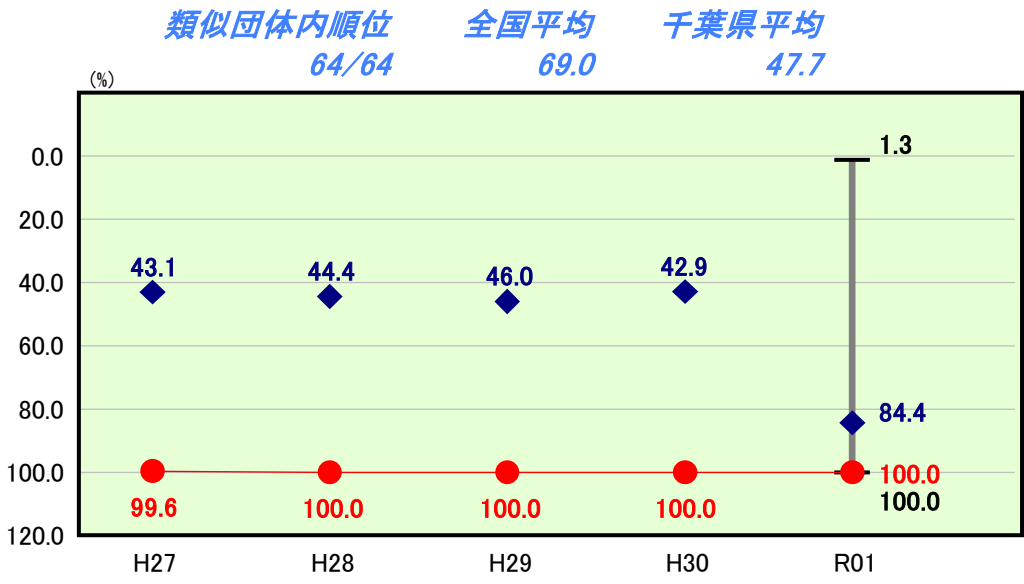
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。

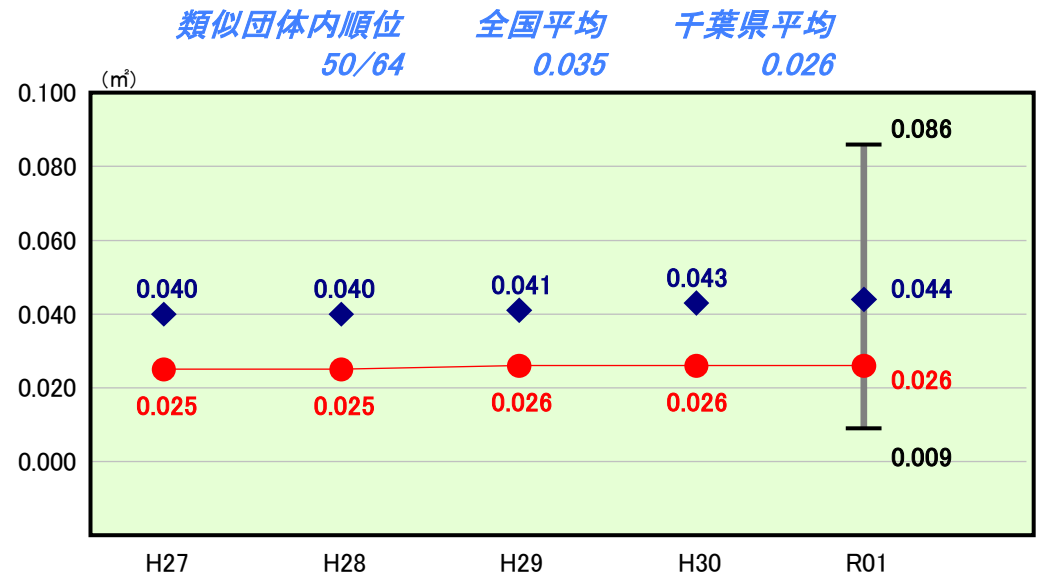
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。

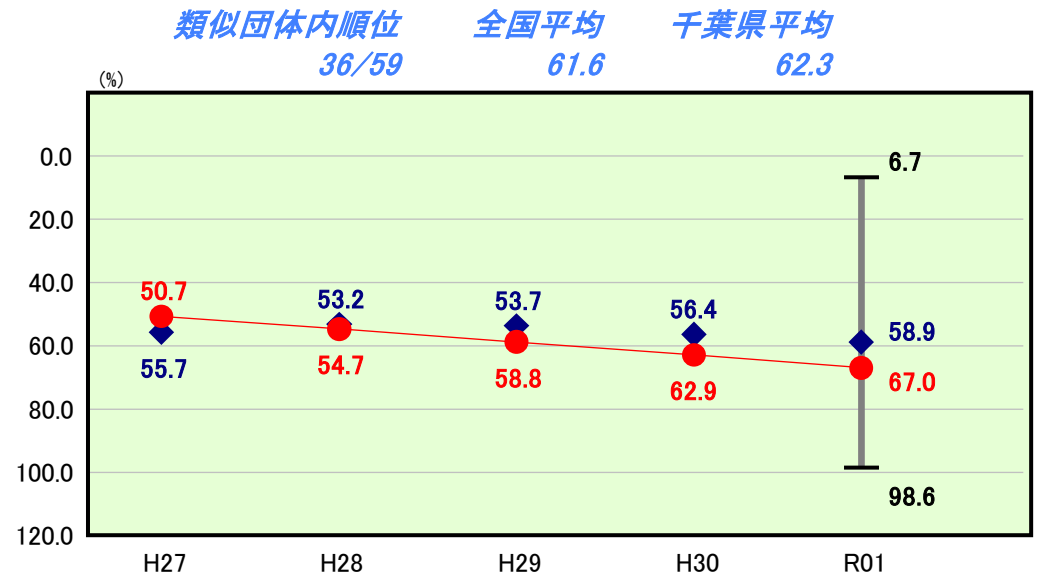
【図書館】
有形固定資産減価償却率



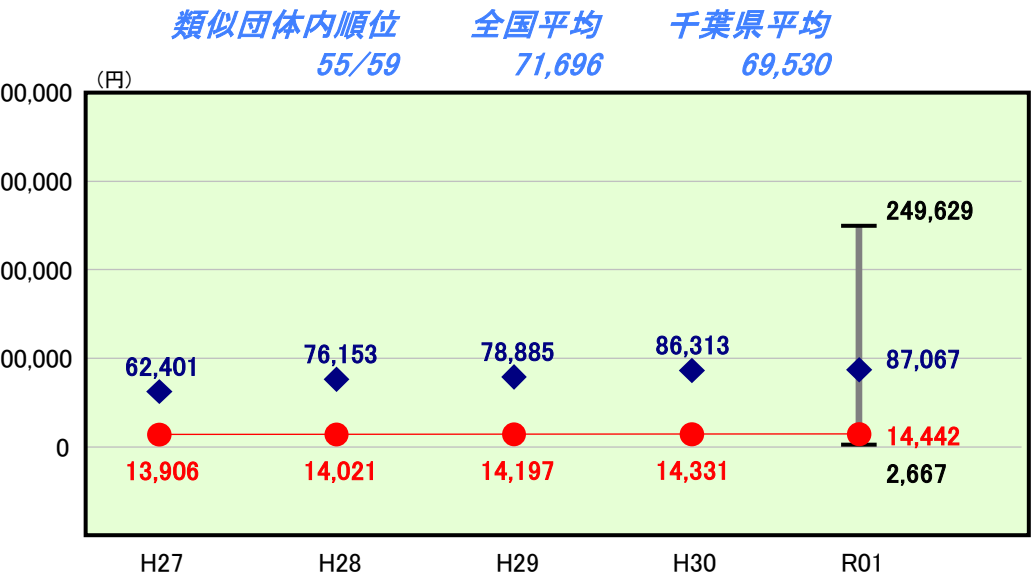
【図書館】
一人当たり面積



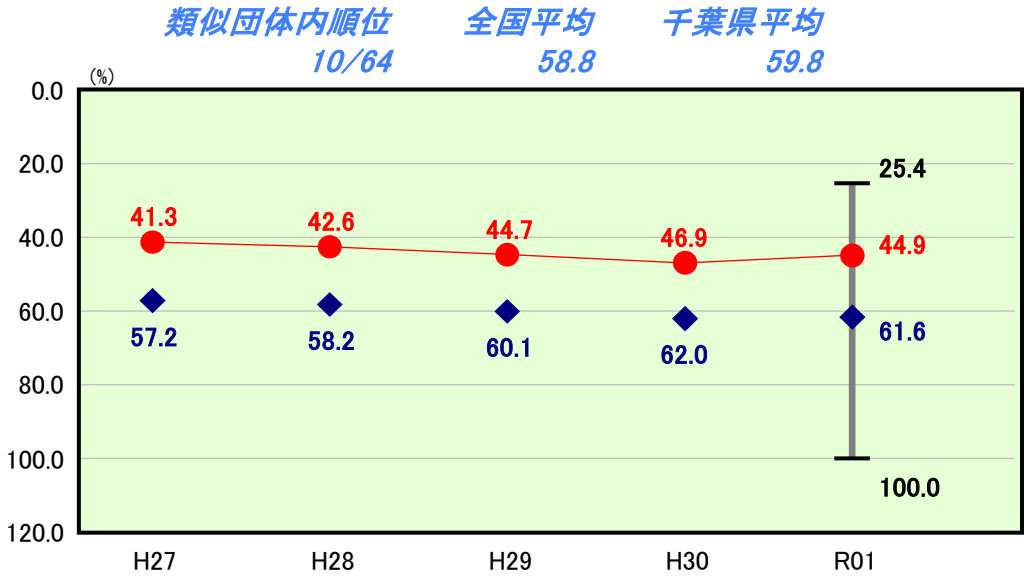
【一般廃棄物処理施設】
有形固定資産減価償却率



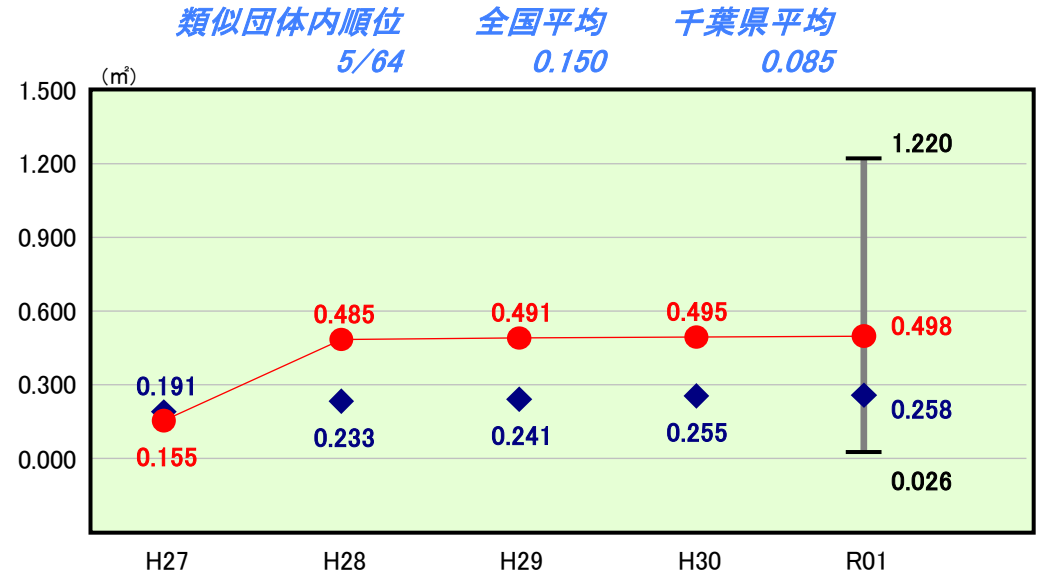
【一般廃棄物処理施設】
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



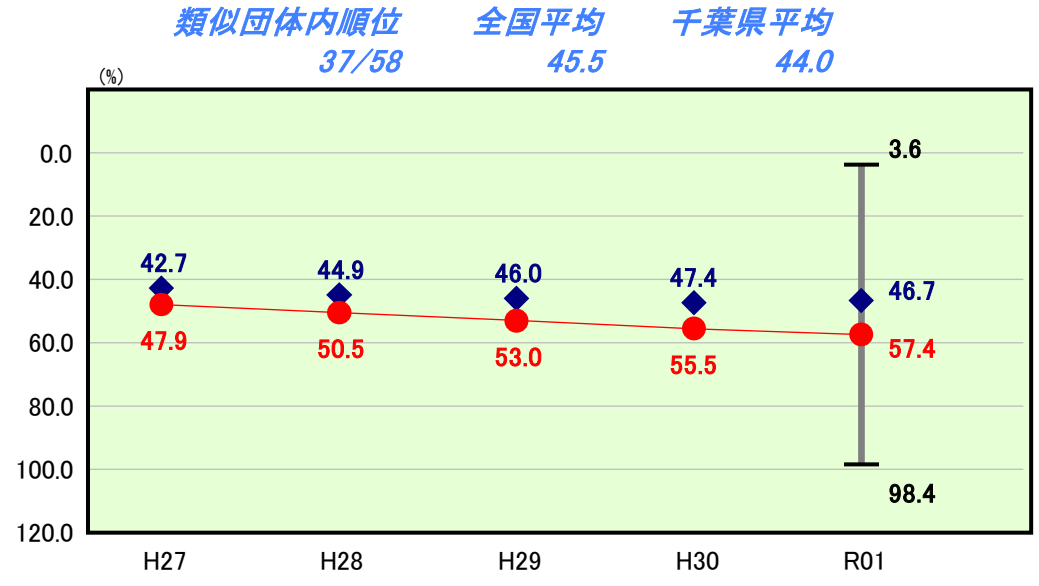
【体育館・プール】
有形固定資産減価償却率



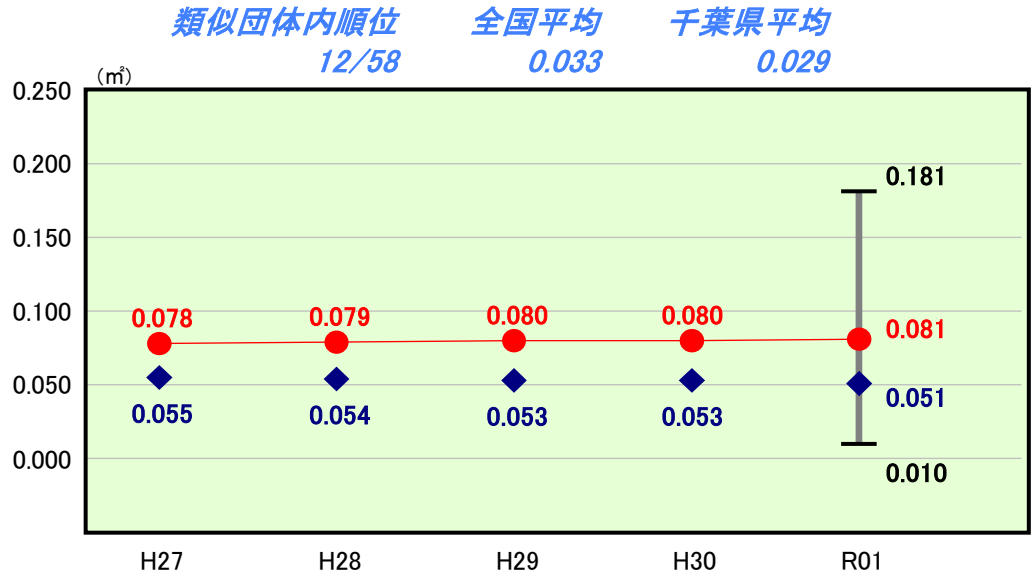
【体育館・プール】
一人当たり面積



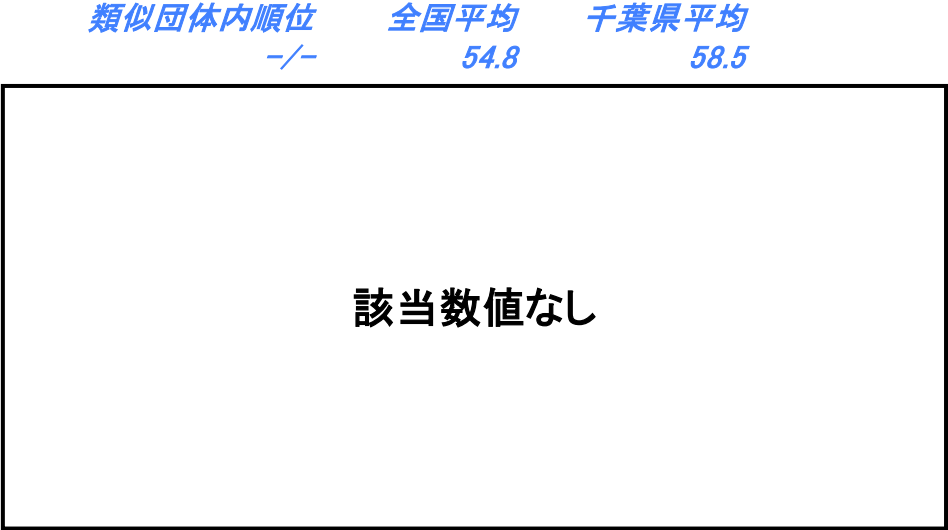
【保健センター・保健所】
有形固定資産減価償却率



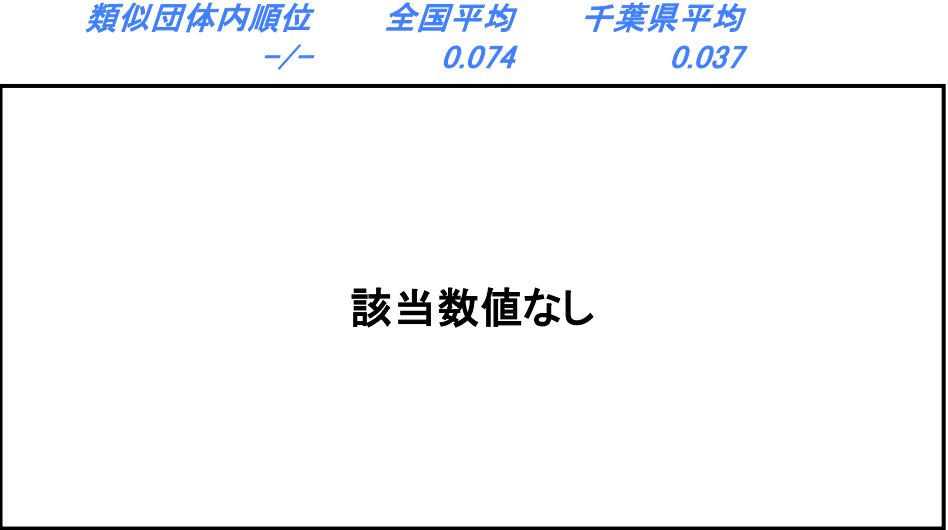
【保健センター・保健所】
一人当たり面積



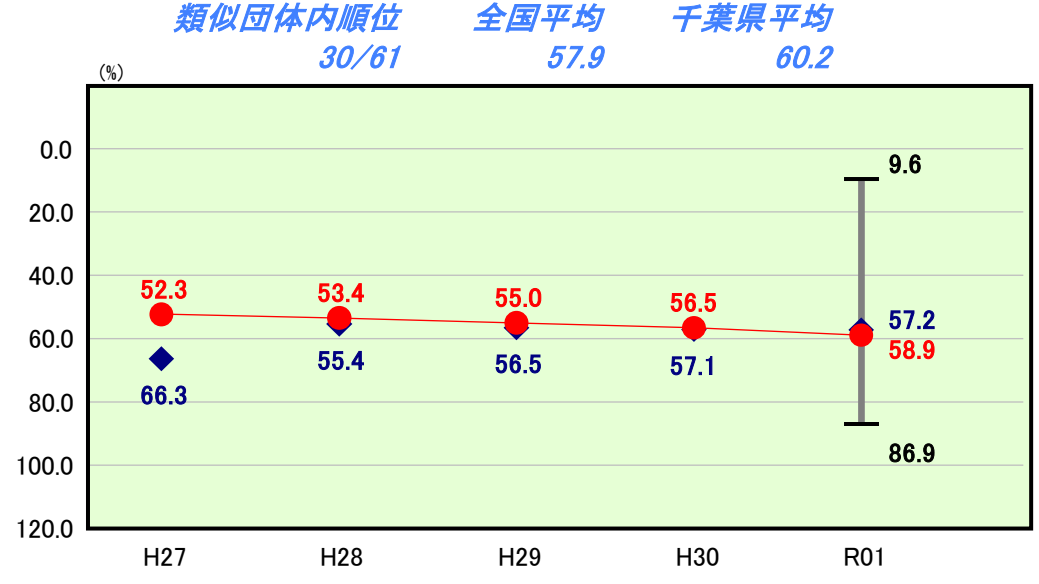
【福祉施設】
有形固定資産減価償却率



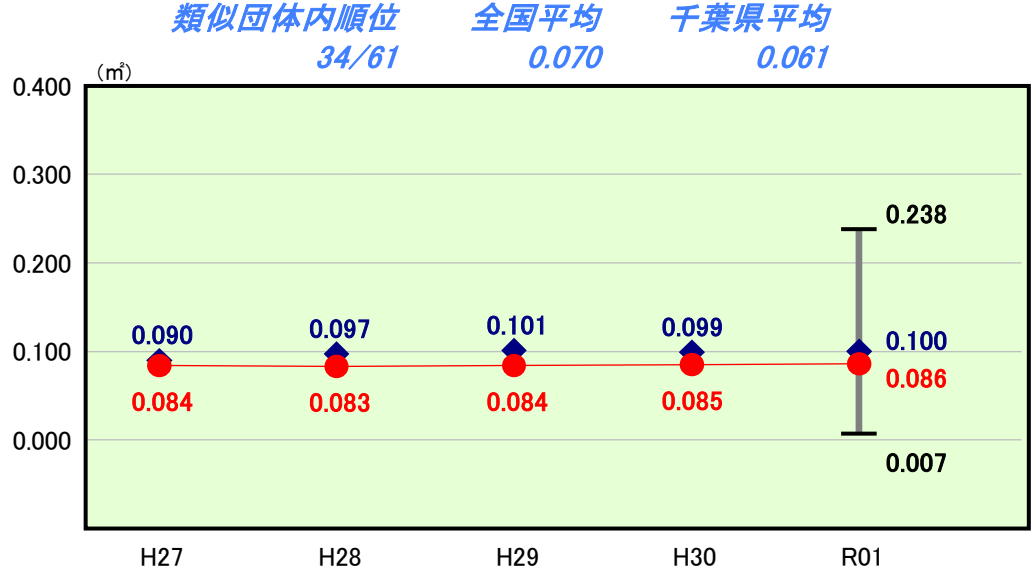
【福祉施設】
一人当たり面積



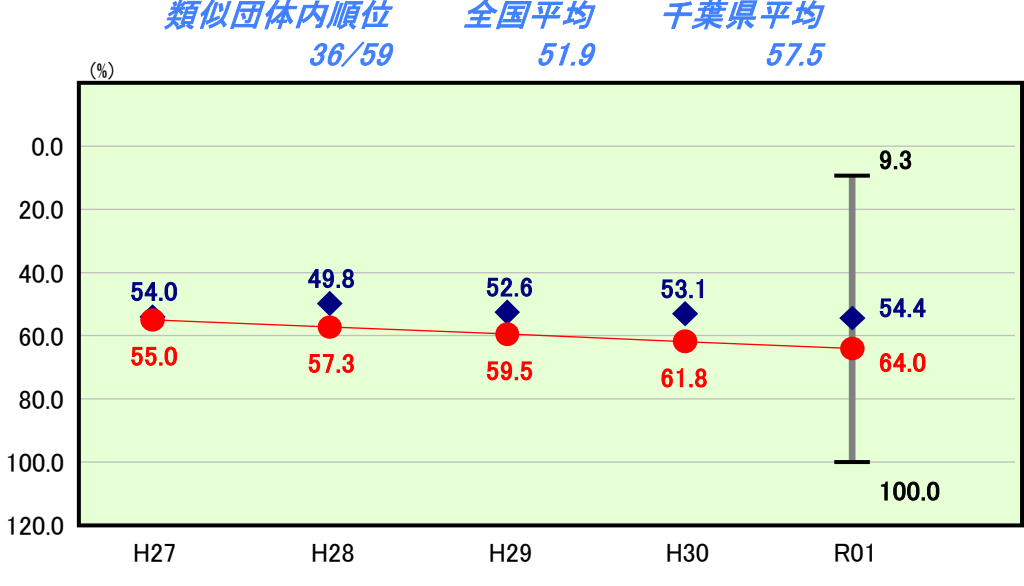
【消防施設】
有形固定資産減価償却率



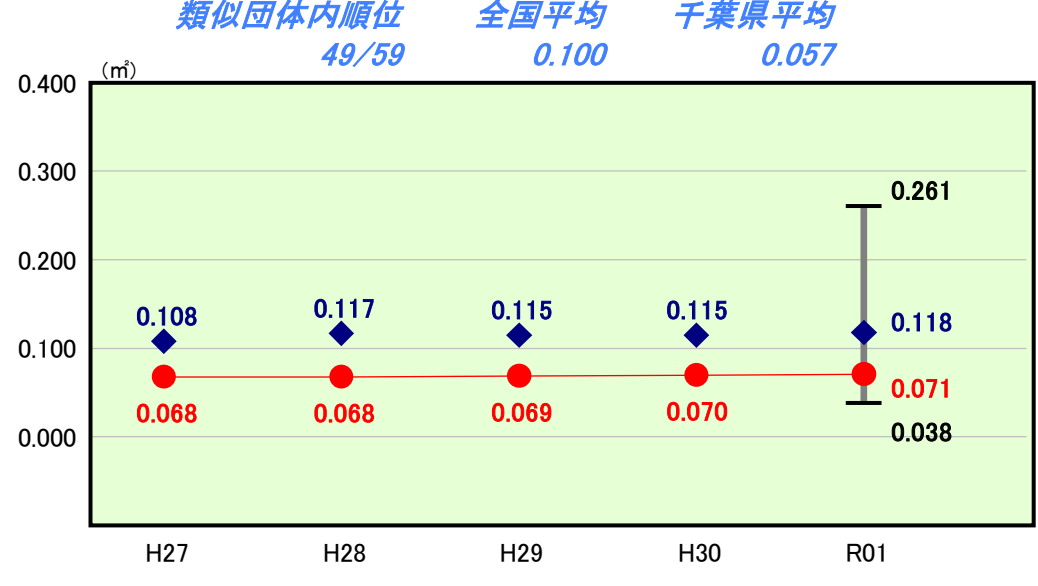
【消防施設】
一人当たり面積



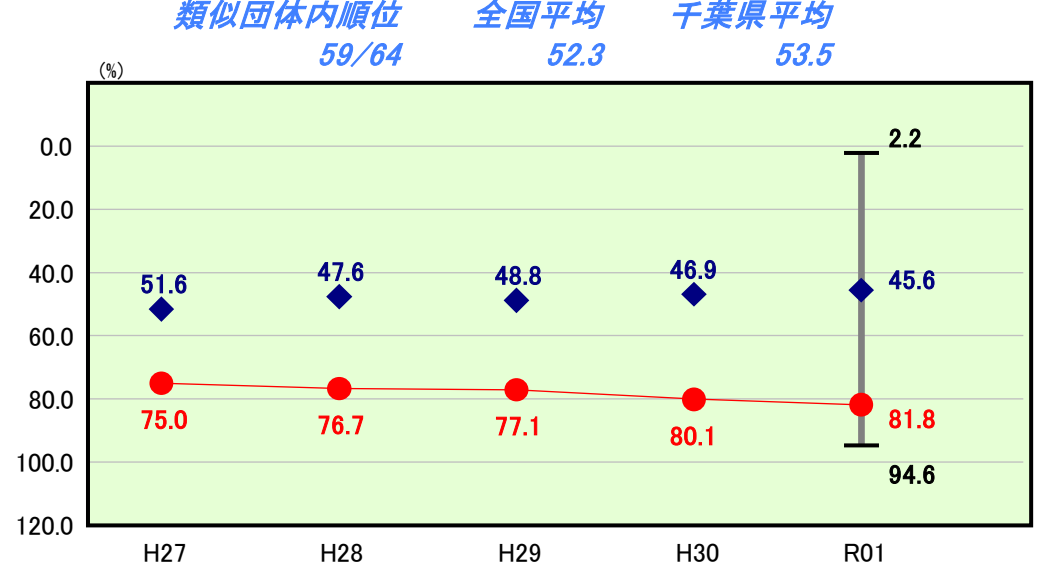
【市民会館】
有形固定資産減価償却率



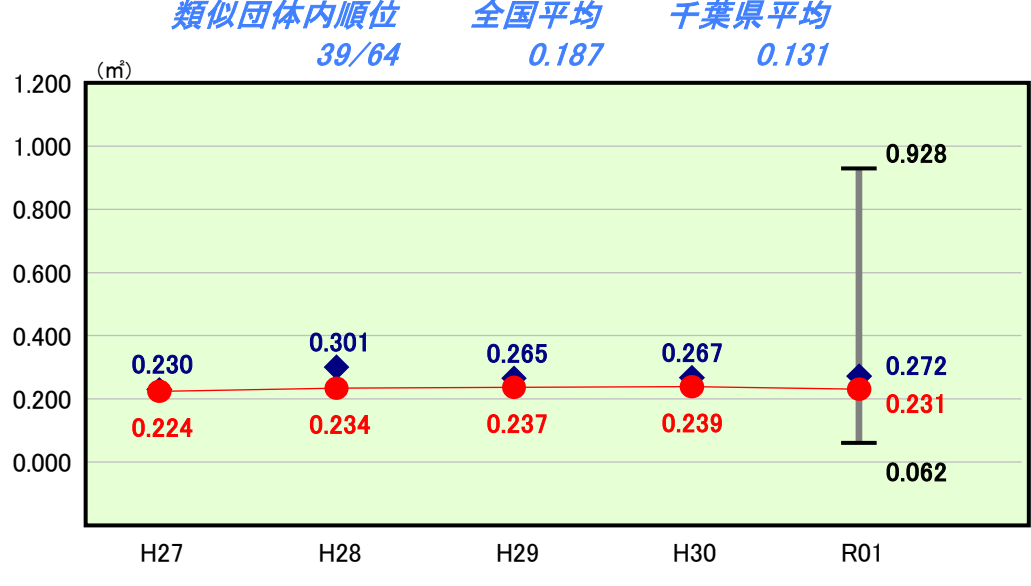
【市民会館】
一人当たり面積



【庁舎】
有形固定資産減価償却率



【庁舎】
一人当たり面積



施設情報の分析欄

図書館及び庁舎の有形固定資産減価償却率が類似団体に比べて著しく高い水準となっている。

旭市図書館は、旭市民会館に併設されており、耐用年数を10年超過しているため、老朽化の進展が著しく、耐震性にも問題を抱えている。また、旧旭市の施設であるため、施設規模が小さく、市民一人当たりの面積についても類似団体平均と比較して狭いものとなっている。今後は、建物を廃止・解体し、図書館機能を千葉県立東部図書館の一部を借用して移転するため、数値の改善が図られる。

庁舎については、本庁舎が建設から55年が経過しているほか、各支所においても築年数が35年以上経過しているため、有形固定資産減価償却率が類似団体平均よりも著しく高い水準となっている。今後は、令和3年度の新庁舎完成に伴い、各支所に分散していた機能を新庁舎に集約するため、有形固定資産減価償却率は大きく改善する見込である。